

# 八潮市学校適正配置指針・計画（案）及び北部地区個別計画（案）に対する意見募集の実施結果と対応について

## 1 意見募集期間

令和8年2月16日（月）から令和8年3月17日（火）まで（30日間）

## 2 意見件数

提出件数 30件

\*提出者は全て市内に住所を有する者

提出された意見の主な内容（1件に複数の意見が含まれている場合あり）

1. 北部地区の学校の統合時期を延ばしてほしい（13件）
2. 北部地区の学校を統合しないでほしい（7件）
3. 小規模特認校制度の周知不足（5件）
4. 説明会での意見の計画への反映（4件）
5. 八條北小学校の早期の統合を希望（3件）
6. 小規模特認校制度の継続（3件）
7. 統合のスケジュールに疑問（2件）
8. 子どもの意見の聴取（2件）
9. その他（11件：各1件ずつの意見）
  - ① 南部地区の新設中学校の建設
  - ② 道の駅の活用
  - ③ 避難所の確保
  - ④ 学校の跡地
  - ⑤ 適正な通学距離
  - ⑥ 校舎の耐用年数を見据えた建替え時期の平準化
  - ⑦ 八潮中学校を活用した小中一貫校整備の検討
  - ⑧ パブリックコメントの実施と小規模特認校制度休止の関係
  - ⑨ 保護者や地域に対する丁寧な説明と情報公開
  - ⑩ 八條北小学校の統合はやむを得ない
  - ⑪ 統合後の通学に関する不安

### 3 意見と市の考え方

反映区分（1件で複数の意見が出された場合は主な意見に対する反映区分とする）

A：意見を反映し、その案を修正する（した）	0件
B：すでに案で対応している	2件
C：案の修正はしないが、実施段階で参考としていく	4件
D：意見を反映できなかった（しない）	24件
E：その他	0件

### 4 計画（案）に記載の複式学級について

令和6年8月に本市の小中学校における児童生徒数の推計を行ったところ、八條北小学校においては、推計上では令和8年度から複式学級（注1）となる見込みとなっていました。実際の児童の在籍状況を勘案すると、令和8年度及び令和9年度は複式学級を回避することができるものと思われました。

その後、令和8年3月中旬までに在校生の転居が複数あり、当初の想定よりも児童数の減少が早く進んだため、令和8年度は2年生と3年生を1学級とする複式学級となっています。市教育委員会及び八條北小学校では、複式学級となった学級の教育環境を最優先に考え、令和8年度は加配教員による対応により、単式学級（学年ごとのクラス）と同様の教育環境を確保するものです。

当該意見募集の期間である令和8年2月16日から3月17日までの期間中は、令和8年度は複式学級とはならない前提でしたが、このような経緯により、意見募集期間が経過した後に複式学級となることが決定したものです。

（注1）複式学級：小学校では、2つ以上の連続する学年が16人（1年生を含む場合は8人）以下の場合、2つ以上の学年で1つの学級を編制することとなり、これを複式学級という。

※八潮市学校適正配置指針・計画（案）及び北部地区個別計画（案）に対する意見については、その対応及び考え方を記載しています。いただいた意見において、当該計画に直接的に関わらない意見等については、その対応及び考え方を記載していない場合があります。

また、いただいた意見等は、原則として原文のまま記載していますが、明らかな誤字・脱字等及び固有名詞については、修正をしている箇所があります。

なお、個人が特定されるおそれがあると思われる箇所については、非表示としています。

No.	意見	市の対応及び考え方	反映区分
1	<p>私の住んでいる地域は潮止中と八潮中の学区のちょうど真ん中にあり、どちらも徒歩で行くには少し大変な距離にあります。</p> <p>近年不審者などの情報も多くあり、3年後に子供を中学校に通わせるのを不安に感じておりました。予定地があるのならば可能な限り早期に開設して頂けることを願います。</p>	<p>南部地区の新設中学校については、南部地区の区画整理事業の進捗や人口推移を踏まえ、生徒数の推移や教室数の不足を考慮し、中学校の新設や通学区域の見直しなどの対応策について、中長期的な視点で慎重に検討する必要があるものと考えております。</p> <p>今後については、引き続き児童生徒数の推移や地域の状況に注視しながら、通学環境にも配慮し、必要な対応について検討してまいります。</p>	C
2	<p>大曾根小学校に通っていた知人のお孫さんが小規模特認校として、公立と私立の間の教育をしていく方針に賛同し、八条北小学校に移動し通っています。今回の配置移動を聞き、当初のかかっていた教育内容は、通常方針に戻ってしまうのでしょうか？これが大きな問題点です。小学校のうちから少しでも高度な教育を身につけてほしいと思う家庭でも家庭環境や収入などで私立は行かせられない子供もいます。ましてや今まで八条北小学校（公立と私立の間の教育）の小規模校で培った価値は評価するものと思っています。普通の小学校内容に戻るといことは学校生活の興味が半減するのではないのでしょうか。</p> <p>そして、小規模特認校として発足し今まで学んだ子供達の特色ある教育を普通小学校になった時に失くなるなら悲しいことです。せっかく学んだ事が途中で頓挫し、それを引き継げないのは避けてほしいと思います。なんとか特認校制度を活性化させ残せないのでしょうか。</p> <p>広報で八条北小の募集は毎年八潮広報で募集していたのか疑問です。段々在席する子供達の人数が増えなかったのは、八潮市全体に八条北小の募集の声が届いてないからだだと思います。増加していればスクールバスの件も必然的に出るはずですし、八潮市に特色ある小規模特認校があると全国にアピールできると思います。</p> <p>1つの意見として、発足時の特認校の方針を見直し、残してもらいたいと思うばかりです。</p>	<p>小規模特認校制度は休止となりますが、特色ある活動などは、該当の小規模校で実施できるよう検討してまいります。</p> <p>広報については、令和6年度まで毎年8月の「広報やしお」に掲載するとともに、市内各校の学校だより等を活用しながら周知を行ってきたところです。</p> <p>小規模校は、学級数が少ないことによる学校運営上の課題、複式学級による課題、教職員数が少ないことによる学校運営上の課題等が多数発生します。その結果、児童生徒が落ち着いて学校生活を送ることができる環境や、安全に登下校できる環境を確保することが困難となり、これらの問題が児童生徒に悪影響を与える可能性があります。</p> <p>八潮市教育計画に掲げる基本理念「明日の八潮を担う人づくり～「共生・協働」「安全・安心」を基盤として～」を実現し、児童生徒の確かな学力や豊かな心を育成していくためには、急速に進行する小規模校化といった学校規模の課題の解決は必須であると考えられます。</p> <p>さらに、八条北小学校は、推計上は令和8年度より複式学級が発生する見込みとなっていたものの、実際には令和8年度及び令和9年度においては回避できる見込みであり、令和13年度頃から複式学級が発生する可能性が高いと想定しておりました。</p> <p>しかしながら、当初の想定よりも児童数の減少が早く進んだことにより、令和8年度において2年生と3年生で複式学級が発生しており、学級の運営や教員の配置といった教育環境への影響に加え、児童にとっては、将来大きな集団への適応に課題を有する可能性があること等を踏まえると、早期の統合が避けられない状況にあるものと考えております。</p> <p>このため、統合時期については、これを可能な限り早期に解消する必要があることから、令和10年4月というスケジュール（案）をお示ししているところでございます。</p>	D
3	<p>在校児の保護者の立場として、現状の八条北小は先生方が手厚く指導してくれており、他学年との交流も盛んで深い人間関係を構築できていると思います。</p> <p>一方で、集団の中でしか得ることが出来ない多様な考え方、切磋琢磨する機会は0に等しいと感じています。簡単に1位になれる。最下位でもなんとも思わない。そう感じてなりません。これから高校生、大学生、社会に出た時にそのギャップに対応出来ないと思います。好んで八条北小に通っている訳ではありません。学区内の学校に通っているだけです。平等な教育を受けさせるためにも、一刻でも早く統合を希望します。</p>	<p>小規模校は、学習面以外に、学校運営上でも多くの課題があるものと考えており、特に令和8年度は八条北小学校において2年生及び3年生が複式学級となっており、早急に対応する必要がございます。</p> <p>このため、計画（案）内でお示ししているスケジュールどおり検討が進められるよう取り組んでまいります。</p>	B
4	<p>流石に1クラス10人以下は異常値。特色ある教育とは言え、教員はたまたま八条北小へ異動でやってきた教員。小規模校限定の指導要領がある訳でもない。個別指導塾でもないから1人1人にあった指導をするわけでもない。小規模校だから教育の質が充実しているとは思えない。ここまで北小がよく持ったという印象です。今後も数名づつ入学者は増えるはず。どこかで手を打たなければ本当に手遅れになると思います。</p>	<p>小規模校は、学習面以外に、学校運営上でも多くの課題があるものと考えており、特に令和8年度は八条北小学校において2年生及び3年生が複式学級となっており、早急に対応する必要がございます。</p> <p>このため、計画（案）内でお示ししているスケジュールどおり検討が進められるよう取り組んでまいります。</p> <p>部活動の在り方については、地域移行の検討がされている状況もあるため、国や近隣自治体の動向に注視しながら慎重に検討してまいります。</p>	B

	<p>ただ、八條中が八條小内へ統合される事で児童数が増える。という考えは安易すぎると思います。八條中学区者が学区変更する理由は【部活動】もひとつの原因です。学区を広げるだけではなく。部活動の充実も同時に考えて欲しいです。</p>		
5	<p>私は子供が小学校に通っていて、●年生（次●年生）になる母です。      当時長女は●歳でしたが、子供は3人～4人授かりたいと思っていました。      八條のお家を買う際に主人と決めた事が、小学校、中学校が近い所。出来ればイジメもなく先生が目が行き届く学校。小中学校は合計9年間通う事になるので、小さな体でと思うと近い所でした。      物件が出た時には、朝、昼、晩と周辺の状況を何度も確認しました。      朝はたまにお父さんやお母さんがいたり、横断歩道には先生がいたり、帰りにはスクールガードさんがいました。      個々の環境は素晴らしいと思い、家を購入しました。      市街化調整区域なので、親族にいないと買えない土地でしたが、中古だったので購入する事ができました。      購入から7年の月日が経ち、長女はついに小学校へ。      毎日学校が楽しい！男の子も女の子も皆仲良し！〇〇先生と遊んだ、お話をした。帰宅してからもう一度学校へ行き、お友達と遊ぶ。校長先生と遊ぶ！と。      校長先生！？と、私はびっくりしました。一緒に校長先生も遊んでくれる学校は八條北小学校だからだなと。      そして、校長先生は全校生徒の名前と顔を覚えています。      これも小規模校の素晴らしい所だと感じていました。</p> <p>5、6年生が修学旅行でいない際、登校班は4年生～になってしまう為、近いけれどまだまだ不安な為、朝一緒に学校まで行こうと思っていましたが、待ち合わせ場所に行くと教頭先生がいらっしやいました。私は下の子達3人いるので、本当に助かりました。      全校遠足では高学年のお姉さんお兄さんもいるので。知らない事を教えて貰ったりとっても優しかった！またすぐに行きたいとお話ししてくれたのを覚えています。      毎日学校であった楽しいお話を聞いている次女は、早く八條北小学校に行きたいと楽しみにしています。（校歌も歌えます）      子供●人●●●●●歳なので一番下の子が小学校●年生になった時上の子は中学校●年生です。      運動会も合同なので、それも楽しみにしています。      本来なら小学校、中学校と別で運動会は開催されますが、小規模校ならではの感動がありました。      小学校1年生から中学校3年生まで全力を出し応援したり、競技に参加していて、本当に感動でした。      中学生はスレてない優しい子達ばかりで安心しました。      小規模校のデメリットばかり囚われがちですが、メリットが本当に沢山あります。      小学校で先生方の目が行き届いた授業だからか、学力テスト等は全国平均よりも高いです。      そして、子供達の事を第一に考え行動してくれる先生方。      廊下や教室には子供達の写真も沢山飾ってあります。本当に沢山あり、何度も見てしまいます。新しい写真も更新されて、親の私たちが知らない時間を沢山記録してくれています。</p>	<p>小規模校は、学級数が少ないことによる学校運営上の課題、複式学級による課題、教職員数が少ないことによる学校運営上の課題等が多数発生します。その結果、児童生徒が落ち着いて学校生活を送ることができる環境や、安全に登下校できる環境を確保することが困難となり、これらの問題が児童生徒に悪影響を与える可能性があります。      八潮市教育計画に掲げる基本理念「明日の八潮を担う人づくり～「共生・協働」「安全・安心」を基盤として～」を実現し、児童生徒の確かな学力や豊かな心を育成していくためには、急速に進行する小規模校化といった学校規模の課題の解決は必須であると考えられます。      さらに、八條北小学校は、推計上は令和8年度より複式学級が発生する見込みとなっていたものの、実際には令和8年度及び令和9年度においては回避できる見込みであり、令和13年度頃から複式学級が発生する可能性が高いと想定しておりました。      しかしながら、当初の想定よりも児童数の減少が早く進んだことにより、令和8年度において2年生と3年生で複式学級が発生しており、学級の運営や教員の配置といった教育環境への影響に加え、児童にとっては、将来大きな集団への適応に課題を有する可能性があること等を踏まえると、早期の統合が避けられない状況にあるものと考えております。      このため、統合時期については、これを可能な限り早期に解消する必要があることから、令和10年4月というスケジュール（案）をお示ししているところでございます。      なお、道の駅に関するご意見については、関係部署と共有し今後の参考とさせていただきます。</p>	D

	<p>こんな素敵な小学校に子供を通わせる事を楽しみにしていたので、廃校になってしまうのは悲しいです。</p> <p>これから道の駅も作られ、人の出入りも多くなると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育プログラム化</li> </ul> <p>道の駅を「校外活動の場」として活用（農業・流通・販売を学ぶ）</p> <p>子どもが育てた野菜を道の駅で販売する「子ども農園プロジェクト」</p> <p>道の駅スタッフによる出前授業（地域産業・観光・経営など）</p> <p>学校の「見える化」で移住者に訴求</p> <p>道の駅に学校の紹介コーナーを設置</p> <p>「この地域には魅力的な学校がある」と移住検討者にアピール</p> <p>移住相談窓口と学校見学をセットで案内</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅を核にした移住促進</li> </ul> <p>道の駅は移住希望者が立ち寄るきっかけになる場所です。</p> <p>移住パンフレットや学校紹介資料を道の駅に常設</p> <p>「子育て環境が整った地域」としてブランディング</p> <p>道の駅のSNS・HPで学校のイベント情報も発信してもらう</p> <p>など、他にもまだまだできる事が沢山あるかもしれません。</p> <p>まだ八条北小学校に通いたい子供達が我が家には●人います。</p> <p>長い文書になってしまいましたが、どうかこの声を流さずに考えて頂きたいです。</p> <p>よろしくお願い致します。</p>		
6	<p>これまで複数回、説明会に参加してきました。</p> <p>教育委員会からの説明に対し、疑問が多く寄せられていたが、質問に対して真っ直ぐな回答はなかったように感じている。</p> <p>当方もこれまで何度も質問をしたが、納得できる回答うんぬんではなく、「現時点ではわからない」や「所管部署が違うので回答できない」というものが多かった。</p> <p>質問者側が、的外れ・場違いな質問をしていけば、後者の回答は致し方ないと思うが、そんなことも協議してなかったのかと、落胆するような説明会だった。</p> <p>北部の人口減は事実として、進め方や反対意見に対する対応には疑問が残る。</p> <p>地域住民としては、八条北小学校、八条中学校が無くなった場合の避難所が具体的に、また避難所としての機能を明示、確定されるまでは現在の計画に一切賛成はできない。</p> <p>ハザードマップに応じた高さの避難所（特に水災）が北部地区からなくなるのは北部住民は到底納得のいくものではない。</p>	<p>八条北小学校及び八条中学校周辺では、北部拠点の形成に向け産業施設の立地や、新たな公共施設の整備に向けた検討を進めています。</p> <p>こうした状況を踏まえ、学校統合後の地域の安全・安心の確保に向け、関係課と連携し、今後の対応について整理を進めてまいります。</p>	C

7	<p>市の計画については、最低でも既存の入学している生徒が卒業するまでは実施すべきでないと考えます。子供は大人以上に環境の変化に対応することが難しいです。転校は子供にとって大きなストレス要素になると思います。子供の教育を受ける権利、大人の教育を受けさせる義務の覆行のため、計画の実行は現一年生卒業後とすべきだと思います。また、実行の場合、子供の通学手段の確保を検討すべきです。ただ、バス運転士も不足しているため、学校を残した方がメリットが出ることもあると思います。学校に他施設を併設するなど、現学校施設の活用を検討してはどうでしょうか。柔軟な対応を検討すべきだと思います。</p>	<p>八條北小学校は、推計上は令和8年度より複式学級が発生する見込みとなっていたものの、実際には令和8年度及び令和9年度においては回避できる見込みであり、令和13年度頃から複式学級が発生する可能性が高いと想定しておりました。</p> <p>しかしながら、当初の想定よりも児童数の減少が早く進んだことにより、令和8年度において2年生と3年生で複式学級が発生しており、学級の運営や教員の配置といった教育環境への影響に加え、児童にとっては、将来大きな集団への適応に課題を有する可能性があること等を踏まえると、早期の統合が避けられない状況にあるものと考えております。</p> <p>一方で、統合に伴い、教育環境が大きく変わることで、新しい友達や先生との人間関係を構築しなければならないことから、児童生徒に精神的な負担がかかることが懸念されます。</p> <p>そのため、統合に向けて児童生徒に対しても十分な説明を行うとともに、統合前の段階から八條小学校・八條北小学校・八條中学校の交流活動を実施するなど、児童生徒が円滑に統合校での生活になじめるよう配慮した取組を検討します。</p> <p>通学手段については、東京外かく環状道路よりも北側に居住している小学生はスクールバスを利用して安全に登下校できるよう、スクールバスの導入に向けた検討を進めます。</p> <p>現学校施設の活用については、該当地域は市街化調整区域のため住宅開発に関連する計画はなく、児童生徒数の増加には繋がらないことから、小規模校の解消にはならないものと考えております。</p>	D
8	<p>本当に子供達の幸せを最優先に考えた計画なのですか？</p> <p>①小規模特認校として「英語に特化し勉強も私立と公立の間」と説明して集め、6年間送迎する覚悟を持たされ「廃校」にはなりません」といわれた人も居ます。それが急に中止統合する計画に。不安、疑問を感じ転校する児童が増え、これ以上減らさないように転校禁止する様なことを言うのはおかしい。スクールバスがあれば通いたい子も親も居るのに「子供がオシッコと言ったら対処出来ない」と返答。幼稚園はほぼバスです。</p> <p>②市内の小学校や幼稚園に小規模特認校募集プリントを配ったと言われますが、他の学校の親は「知らない」と言い、学校関係者は「教育委員会は新設の小学校に忙しく、プリントを作る予算も無い」と。毎年大々的に募集しなければ児童数減少は当たり前です。</p> <p>③2年後に小学校が合併して中学校だけ孤立して変質者や誘拐等に会っても逃げ込む所が無い（今は八條北小学校が近くにあるので安心）</p> <p>④統合後、小規模特認校は八幡小でやるとの事なら、このまま八北小で続ける事は出来ないのか？統合したら勉強も普通の公立小に戻るなら遠くまで通う必要も無く子供達や親が納得していないのに統合するのはおかしい。</p> <p>⑤5年後、3校統合する（小中一貫校）のではなく同時に統合する事は出来ないのですか？</p> <p>⑥広報に意見募集と載っても、内容もわからずHPを見る人はいません。</p> <p>⑦市民、関係者に意見募集なら全意見に返答をお願いします。</p>	<p>市教育委員会では、令和2年3月に八潮市学校適正配置指針・計画を策定しております。</p> <p>本計画において、小規模校対策として、八條北小学校においては、小規模特認校制度など、小規模校を最大限活かすことについて検討し、魅力ある学校づくりのための制度を創設し、児童数の増加を促進する。としており、この方策において一定の成果が出ないと教育委員会で判断した場合、又は2つ以上の学年で編成する学級が生じる場合については、統合の対応について検討を開始する。その際は、地域の意見を聴くとともに、統合の方法や登校の手段や方法についても検討する。としております。</p> <p>成果の部分については、学習面では一定の成果が出ているものの、児童生徒数については、横ばいとなっており、小規模校の解消まではいたっていない状況です。</p> <p>さらに、八條北小学校は、推計上は令和8年度より複式学級が発生する見込みとなっていたものの、実際には令和8年度及び令和9年度においては回避できる見込みであり、令和13年度頃から複式学級が発生する可能性が高いと想定しておりました。</p> <p>しかしながら、当初の想定よりも児童数の減少が早く進んだことにより、令和8年度において2年生と3年生で複式学級が発生しており、学級の運営や教員の配置といった教育環境への影響に加え、児童にとっては、将来大きな集団への適応に課題を有する可能性があること等を踏まえると、早期の統合が避けられない状況にあるものと考えております。</p> <p>このため、統合時期については、これを可能な限り早期に解消する必要があることから、令和10年4月というスケジュール（案）をお示ししているところでございます。</p> <p>また、八潮市教育計画に掲げる基本理念「明日の八潮を担う人づくり～「共生・協働」「安全・安心」を基盤として～」を実現し、児童生徒の確かな学力や豊かな心を育成していくためには、急速に進行する小規模校化といった学校規模の課題の解決は必須であると考えられます。</p>	D
9	<p>ぼくは八條北小学校に通っています。</p> <p>年長の時にはじめて八條北小学校を見学しました。</p> <p>ぼくはここに通いたいと思い、入学しました。</p>	<p>小規模校は、学級数が少ないことによる学校運営上の課題、複式学級による課題、教職員数が少ないことによる学校運営上の課題等が多数発生します。その結果、児童生徒が落ち着いて学校生活を送るこ</p>	D

	<p>ぼくたちの学校は小さいけれど、どの学年とも仲が良くとても楽しいです。先生もぼくの話がたくさん聞いてくれます。</p> <p>大きな学校はよくて小さな学校はいいというのには差別だと思います。差別をしてはいけないのにどうしてですか？</p> <p>ぼくは大好きな八條北小学校でそつぎょうしたいです。</p>	<p>とができる環境や、安全に登下校できる環境を確保することが困難となり、これらの問題が児童生徒に悪影響を与える可能性があります。</p> <p>八潮市教育計画に掲げる基本理念「明日の八潮を担う人づくり～「共生・協働」「安全・安心」を基盤として～」を実現し、児童生徒の確かな学力や豊かな心を育成していくためには、急速に進行する小規模校化といった学校規模の課題の解決は必須であると考えられます。</p> <p>さらに、八條北小学校は、推計上は令和8年度より複式学級が発生する見込みとなっていたものの、実際には令和8年度及び令和9年度においては回避できる見込みであり、令和13年度頃から複式学級が発生する可能性が高いと想定しておりました。</p> <p>しかしながら、当初の想定よりも児童数の減少が早く進んだことにより、令和8年度において2年生と3年生で複式学級が発生しており、学級の運営や教員の配置といった教育環境への影響に加え、児童にとっては、将来大きな集団への適応に課題を有する可能性があること等を踏まえると、早期の統合が避けられない状況にあるものと考えております。</p> <p>このため、統合時期については、これを可能な限り早期に解消する必要があることから、令和10年4月というスケジュール（案）をお示ししているところでございます。</p>	
10	<p>八條北小学校は小規模特認校として少数ながらも学区外から児童を受け入れています。休止への決定は保護者や当事者である子供たちにきちんと説明がなされているのでしょうか？</p> <p>せめて小規模特認校制度を利用して通学している学年の児童が卒業するまで責任を追うのが筋かと思う。</p> <p>誠意のない対応が残念でならない。</p> <p>統廃合する前に、小規模特認校としてまだできることがあるのではないか。</p> <p>八潮市には素敵な教育環境があると他自治体のモデルケースになるような学校づくりを目指してほしい。</p>	<p>小規模校は、学級数が少ないことによる学校運営上の課題、複式学級による課題、教職員数が少ないことによる学校運営上の課題等が多数発生します。その結果、児童生徒が落ち着いて学校生活を送ることができる環境や、安全に登下校できる環境を確保することが困難となり、これらの問題が児童生徒に悪影響を与える可能性があります。</p> <p>八潮市教育計画に掲げる基本理念「明日の八潮を担う人づくり～「共生・協働」「安全・安心」を基盤として～」を実現し、児童生徒の確かな学力や豊かな心を育成していくためには、急速に進行する小規模校化といった学校規模の課題の解決は必須であると考えられます。</p> <p>さらに、八條北小学校は、推計上は令和8年度より複式学級が発生する見込みとなっていたものの、実際には令和8年度及び令和9年度においては回避できる見込みであり、令和13年度頃から複式学級が発生する可能性が高いと想定しておりました。</p> <p>しかしながら、当初の想定よりも児童数の減少が早く進んだことにより、令和8年度において2年生と3年生で複式学級が発生しており、学級の運営や教員の配置といった教育環境への影響に加え、児童にとっては、将来大きな集団への適応に課題を有する可能性があること等を踏まえると、早期の統合が避けられない状況にあるものと考えております。</p> <p>このため、統合時期については、これを可能な限り早期に解消する必要があることから、令和10年4月というスケジュール（案）をお示ししているところでございます。</p>	D
11	<p>私は高木町会に所属し、娘が令和9年4月に八條北小学校に入学予定です。</p> <p>自宅から学校まで徒歩5分で通えることから、できれば今回の統合の話は無しにしていきたいのが本音ですが、いかんせん外環より北側の地域に住民ひいては子供達がいらない現状を考えると計画そのものを否定するつもりはありません。「やむを得ない」と思います。</p> <p>しかしながら、計画の進め方に疑問を感じたため、今回このように記させていただきます。</p> <p>それは実施時期についてです。計画では「令和10年3月を以って八條小学校と八條北小学校を統合する」という事ですが、あと2年しかありません。まだ議会の議決もされていませんよね。早くても夏頃、遅ければ秋になると思います。実質1年半ぐらいです。どうしてそんなに急がなければならないのですか？今までの計画で具体的な日程が記されていない中で、昨年になり急に日程が示されてい</p>	<p>これまで10年以上に渡り、八條小学校・八條北小学校・八條中学校の統合について議論を重ねてまいりましたが、統合には至っておりません。</p> <p>そのような中、特に八條北小学校においては、小規模特認校制度の導入後においても在校生が著しく少ない状況が続いており、推計においても今後その傾向は更に加速していくものと見込まれています。</p> <p>さらに、八條北小学校は、推計上は令和8年度より複式学級が発生する見込みとなっていたものの、実際には令和8年度及び令和9年度においては回避できる見込みであり、令和13年度頃から複式学級が発生する可能性が高いと想定しておりました。</p> <p>しかしながら、当初の想定よりも児童数の減少が早く進んだことにより、令和8年度において2年生と3年生で複式学級が発生しており、学級の運営や教員の配置といった教育環境への影響に加え、児童</p>	D

	<p>る。教育委員会の説明では「早く示すべき」「複式学級の恐れがある」との事でしたが、市の想定で複式学級が生じるのは令和13年度になっております。だったらその時でよろしいのではないのでしょうか。「令和10年」にこだわる理由が分かりません。何か「開発との兼ね合いがある」と勘ぐられても仕方無いです。</p> <p>今までの教育委員会の課題の進捗状況を見ても、実質1年半で学校を統合させる事を進められるとは思えません。花桃小学校の準備状況や学校給食の見直しについての動きを見ていると、「ずいぶん時間がかかっている」としか思えません。食中毒事件から何年経っているのですか？まだ「こういうものを作りたい」というレベルで具体的な動きが見えていません。事案の重さに見合った動きがされているとは思えません。</p> <p>準備時間が短ければ短い程、雑になり粗っぽくなるものです。先日の説明会の中では「スクールバスを運行させる」という事を明言されているのですが、最近の社会情勢の中で「バス運転士の人員不足」が問題となっており、八潮市においてもコミュニティバスの見直しが行われ、また、今後検討される中で本当に大丈夫なのでしょう？花桃小学校の時のように「入札が不調のため予定が遅れる」、「学校は統合するが、スクールバスは運行しない」という事は避けなければいけないと思います。</p> <p>話は変わりますが、学区内の歩道整備にも力を入れていただければと思います。</p> <p>交通量が増えているとともに通過交通としてかなりのスピードで走行している他県ナンバーの車両をかなり見受けます。通学時間帯に限らず危険性が高まっていますので対策方、部署は違いますがお願いできればと思います。</p> <p>長くなりまして申し訳ございません。あらためて今回の個別計画（案）につきまして、ご質問、意見させていただき最後とさせていただきます。</p> <p>○八條北小学校の統合（八條中学校の移設含む）には反対しない。</p> <p>○反対はしないが、「令和10年4月」という統合スケジュールには疑問を生じる。なぜこのようなスケジュールにしたのか。納得できる理由、その根拠を示していただきたい。示せないのであれば、まだ実現できる見込みが無いのであればスケジュールの見直し及び再設定を要望する。</p>	<p>にとっては、将来大きな集団への適応に課題を有する可能性があること等を踏まえると、早期の統合が避けられない状況にあるものと考えております。</p> <p>このため、統合時期については、これを可能な限り早期に解消する必要があることから、令和10年4月というスケジュール（案）をお示ししているところでございます。</p> <p>短い期間での統合となりますが、児童生徒の心のケアやスクールバスの運行等も含め、丁寧に進めてまいります。</p> <p>なお、歩道整備に関するご意見については、関係部署と共有させていただきます。</p>	
12	<p>小規模特認校制度をきちんとPRしないまま休止になったことは残念というより市や教育委員会の対応にがっかりしました。</p> <p>花桃小学校の紹介動画は作れて、なぜ八條北小学校や八條中学校の特色ある学校の紹介動画は作れなかったのだろう、就学前検診などを利用し未就学児の家庭へ向けて特認校制度のチラシを配布できなかったのか、そういった努力が見られないまま休止になるのは納得できないし、当事者である子どもへの説明もないのは不誠実です。決まってからでは遅いです。</p> <p>子供は新しい環境にすぐ慣れるから大丈夫というのは大人の理屈です。子どもは心配や不安を言葉にして言わないだけです。</p> <p>小規模校は、大規模校にはない魅力があります。</p> <p>学年を超えた交流の中で、大人になっても役立つ社会性が早い段階から身につけています。</p> <p>個々の役割も多く、中学年より委員会活動にも触れ、自信や責任感が大きく育ちます。</p> <p>先生方も子どもたちの様子をよく見てくれて、安心して通わせることができます。</p>	<p>小規模特認校制度の周知にあたりましては、案内チラシを作成し、市内の幼稚園や保育所へ配布するとともに、市の広報やホームページにも掲載するなど、特に未就学児の保護者向けに周知を行ってきたところであり、一定の周知は図られてきたものと認識しております。</p> <p>小規模校は、学級数が少ないことによる学校運営上の課題、複式学級による課題、教職員数が少ないことによる学校運営上の課題等が多数発生します。その結果、児童生徒が落ち着いて学校生活を送ることができる環境や、安全に登下校できる環境を確保することが困難となり、これらの問題が児童生徒に悪影響を与える可能性があります。</p> <p>八潮市教育計画に掲げる基本理念「明日の八潮を担う人づくり～「共生・協働」「安全・安心」を基盤として～」を実現し、児童生徒の確かな学力や豊かな心を育成していくためには、急速に進行する小規模校化といった学校規模の課題の解決は必須であると考えられます。</p> <p>さらに、八條北小学校は、推計上は令和8年度より複式学級が発生する見込みとなっていたものの、実際には令和8年度及び令和9年度においては回避できる見込みであり、令和13年度頃から複式学級が発生する可能性が高いと想定しておりました。</p>	D

	<p>今回の個別計画案には特色ある教育活動は評価しているとあっても大規模校と比べたデメリットばかりが書かれていて、小規模校に通わせている保護者の視点から見ると疑問に思うことも多く、かなり偏った見方に感じます。</p> <p>まず、他の大規模校と比較することが大前提として間違っていると思います。</p> <p>小規模校として、まだできることはあるのではないのでしょうか？</p> <p>八條北小学校が小規模校として一定の評価が上がっているとのことであれば、今以上に特色ある学校にできないのでしょうか？</p> <p>柏市の小規模特認校のように道の駅を利用した、職場体験や環境活動に力を入れてみたり、空き教室を給食室に改装して地場産の野菜を使った給食を提供するなど、先生が足りないのであれば、無学年式のオンライン ICT 教材を使うなど、少人数だからこそできることを八潮市として試すことはできませんか？</p> <p>保護者や子供だけではなく、先生方のなかにも小規模校で手厚く生徒を導きたいと思う先生もいらっしゃるのではないのでしょうか。</p> <p>統廃合はいつでもできると思います。</p> <p>今一度、統廃合以外の案も市で検討していただけないでしょうか？</p> <p>八潮市は教育活動にこんなに熱心に取り組んでいると自慢できるよう、北部のまちづくりと合わせて考えていただきたいです。</p>	<p>しかしながら、当初の想定よりも児童数の減少が早く進んだことにより、令和 8 年度において 2 年生と 3 年生で複式学級が発生しており、学級の運営や教員の配置といった教育環境への影響に加え、児童にとっては、将来大きな集団への適応に課題を有する可能性があること等を踏まえると、早期の統合が避けられない状況にあるものと考えております。</p> <p>このため、統合時期については、これを可能な限り早期に解消する必要があることから、令和 10 年 4 月というスケジュール（案）をお示ししているところでございます。</p> <p>一方で、統合に伴い、教育環境が大きく変わること、新しい友達や先生との人間関係を構築しなければならないことから、児童生徒に精神的な負担がかかることが懸念されます。</p> <p>そのため、統合に向けて児童生徒に対しても十分な説明を行うとともに、統合前の段階から八條小学校・八條北小学校・八條中学校の交流活動を実施するなど、児童生徒が円滑に統合校での生活になじめるよう配慮した取組を検討します。</p>	
1 3	<p>息子が小規模特認校制度を利用し、通学しています。</p> <p>説明会に参加しましたが、こちら側の意見要望は検討する、難しいとの回答ばかりで市としてはこのパブリックコメントを募集してどんなに素晴らしい意見が出ようと統廃合を進めていく姿勢を変えることはないのでしょうか。</p> <p>ただ、花桃小学校が開校する年度に合わせて八條北小を八條小と統合する案には反対です。</p> <p>花桃小学校が開校するにあたり、大瀬小と大曾根小に通う児童が転校することにより想定外の問題点も出てくることと思います。まずそちらが安定してから八條北小のことを、こどもたちのことを考えていただきたい。</p>	<p>パブリックコメントは、市民等の多様な意見を市政に反映させることを目的としておりますが、特定の意見の多寡によってその採否を決定するものではありません。</p> <p>また、有益なご意見をいただいた場合であっても、現実的な対応を行っていくうえでは、必ずしもすべてを反映できるものではないと認識しております。</p> <p>統合時期については、八條北小学校は、推計上は令和 8 年度より複式学級が発生する見込みとなっていたものの、実際には令和 8 年度及び令和 9 年度においては回避できる見込みであり、令和 13 年度頃から複式学級が発生する可能性が高いと想定しておりました。</p> <p>しかしながら、当初の想定よりも児童数の減少が早く進んだことにより、令和 8 年度において 2 年生と 3 年生で複式学級が発生しており、学級の運営や教員の配置といった教育環境への影響に加え、児童にとっては、将来大きな集団への適応に課題を有する可能性があること等を踏まえると、早期の統合が避けられない状況にあるものと考えております。</p> <p>このため、統合時期については、これを可能な限り早期に解消する必要があることから、令和 10 年 4 月というスケジュール（案）をお示ししているところでございます。</p>	D
1 4	<p>八潮市学校配置基準を拝見し、地域説明会へ複数回参加した上で意見します。</p> <p>八條北小と八條小の統合に関しては賛成、ある意味遅いと思います。</p> <p>小さすぎる学校では学力面とは別に子どもたちのコミュニケーション力にも大きな差が出ていると思います。地域によっては、北小規模の少人数もあると思いますが、東京に隣接するこの地域、市内の状況を考えると一人一人のこどもたちが背負うものが大き過ぎると感じます。最少でも 20 人×2 クラスは必要だと思います。</p> <p>八條中との統合は反対。理由は「学校配置基準計画指針」12 ページによる、学校の校庭の広さです。</p> <p>八條中学の生徒にとっては、八條中校庭→八條小校庭、児童数の倍増で現在の一人当たりの保障面積</p>	<p>本市では、平成 18 年度に「基礎学力の定着が不十分」「不登校児童生徒が多い」「非行問題行動が多い」という当時の教育課題を解決するために、従来の小中学校段階にあたる 9 年間という大きなくくりで教育を行う「小中一貫教育」を一つの手法として取り入れました。以来、「施設分離型」の条件下、全 15 校が一丸となって小中一貫教育を推進し 20 年が経過しており、前述の教育課題に対し一定の成果が得られたところです。</p> <p>小中一貫教育は「施設一体型」、「施設併設型」、「施設分離型」の 3 つに分類され、本市では現時点において「施設分離型」で小中一貫を推進してきました。</p>	C

	<p>の1/10となる上に、新校舎の建設、駐車場の増設で校庭はもっと狭くなり、八潮でも一人当たりの面積の狭い学校という位置づけになり、中学生の心理的ストレスは大きいと考えられます。(特に受験控えた3年生)</p> <p>新校の体育館・プールを現在の駐車場の位置に建設、現体育館の場所に中学校舎を設置する(駐車場は他を借りるか体育館の下に建設等・他) 昨年八條北小の6年男児が自分で選んで八潮中に入学した事実など考えて、現在の児童4年生以上なら意見を言えると思うので、「自分が学校に何を期待するのか」等、本人たちの意見を聞かないで進めてはいけないと思います。(子ども基本法第11条・こどもの生活が大きく変わるときは当事者である子どもの意見を聞かなければならない)</p> <p>中学統合で進学先が八潮中→新設校に変わる児童は思い描いていたその先の進路にも大きな影響があると思います。北小から八潮中を選んだ児童は、八潮中に通いたかったんです。きっかけは部活だったと思いますが、校舎を新しくするだけでは子どもは納得しません。学校を二つつぶすのです。3つ集めて大きくするだけではなく、こどもたちの声を聞く事で子どもたちの目指す誰もが通いたくなる学校を作って行ってほしいと思います。</p> <p>校庭の広さだけでなく、児童・生徒の意見を聞かず進めているいまのままの計画での中学統合は反対です。子どもの人権を無視しているとしか思えません。</p> <p>北小・八條中の跡地問題は今回載っていませんでしたが、大きなグラウンド・体育館 又は合宿所等教育施設、公園等、地域の避難所として活用できる再開発をしてほしい。</p> <p>八潮もこの度、プロバスケット越谷アルファーズへの応援を決めたとのこと、大山市長も15日試合観戦をして宣言していました。</p> <p>アルファーズのような場で八潮のこどもたちが活躍する事を期待、そういう場を作ってあげるべきだと思います。ついでに、統合校にメモリアルルームと有りましたが、八條小の教室を利用するのではなく、北小・八條中の地、新しい良い体育館のロビーにでも設置してほしいと思います。八條地域から当たり前に緑がなくなると書いていましたが、だからこそ意識して今ある緑【生産緑地】を学校給食為にも大事に守るべきだと思います。</p> <p>最後に、北小と八條小、二つ合わせても先々人口は増えないと判断された小さな学校です。だったらこそ、少人数特認校は残すべきだったと思います。5年前の特認校導入はタイミングとしては遅かったと思います。また導入するなら入学したこどもたちの事を教育委員会が一番に考えて責任をもって推進すべきだったと思います。</p> <p>学校給食含めていろいろな問題あったとは思いますが、良い制度は民間企業ではなく、市民・保護者の力をかりて一緒に育てていきたいと思います。</p>	<p>八條小学校・八條北小学校・八條中学校の統合にあたり、施設一体型の小中一貫校を整備する方針とした場合、単に学校の再編を目的とするものではなく、9年間を見通した継続的で質の高い教育の実現を図ることができるものと考えられます。</p> <p>これまでも、分離型の連携による小中一貫教育において一定の成果を上げてきましたが、施設・組織を一体化した小中一貫校だからこそ可能となる教育的効果があります。</p> <p>少子化が進む北部地区においても、将来にわたり「確かな学力と豊かな心を育む教育」を継続するために、小中一貫校の整備は最も有効な方策と考えております。</p> <p>校庭の広さについては、八條小学校の敷地内に中学校校舎を建設しても、一定の運動場面積を確保できることが見込まれることから、児童生徒の教育活動への影響は少ないものと考えております。</p> <p>子ども基本法において、子どもの意見に関する記述があることは認識しているところですが、学校の適正配置や統合といった教育環境に関する事項については、児童生徒数の将来推計や通学環境、安全性、施設整備など、多角的かつ長期的な視点から総合的に判断する必要があることから、これまで主に保護者や地域の皆さまからのご意見を伺いながら進めてきたところです。</p> <p>学校の跡地については、市のまちづくり全体に関わるものであるため、関係部署と共有させていただきます。</p>	
15	<p>件の計画についてまだ問題点があることを知り、ご意見させていただくことにしました。</p> <p>市として、環境の変化に対応していく必要があるのは分かりますが、八條北小の親御さんやお子さんがまず納得をして、安心して学校に通えるよう、以下を検討いただきたく存じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特認校制度を使って入学したお子さんが卒業するまでは、現状を維持する。</li> <li>・八條小に移るにしても、八條北小と同じクラス編成を継続することはできないか。</li> </ul> <p>八條北小には、学区外から特別な思いを持って通学されている方々がいらっしゃいます。一方的ではない寄り添った対応をしていただけたらと思います。</p> <p>ご検討のほど、よろしくご意見申し上げます。</p>	<p>統合時期については、八條北小学校は、推計上は令和8年度より複式学級が発生する見込みとなっていたものの、実際には令和8年度及び令和9年度においては回避できる見込みであり、令和13年度頃から複式学級が発生する可能性が高いと想定しておりました。</p> <p>しかしながら、当初の想定よりも児童数の減少が早く進んだことにより、令和8年度において2年生と3年生で複式学級が発生しており、学級の運営や教員の配置といった教育環境への影響に加え、児童にとっては、将来大きな集団への適応に課題を有する可能性があること等を踏まえると、早期の統合が避けられない状況にあるものと考えております。</p>	D

		<p>このため、統合時期については、これを可能な限り早期に解消する必要があることから、令和10年4月というスケジュール（案）をお示ししているところでございます。</p> <p>クラス編成については、各学校において適切に編制されるものであることから、現時点で可否についてお示しすることはできませんが、統合に伴い、教育環境が大きく変わること、新しい友達や先生との人間関係を構築しなければならないことから、児童生徒に精神的な負担がかかることが懸念されます。</p> <p>そのため、統合に向けて児童生徒に対しても十分な説明を行うとともに、統合前の段階から八條小学校・八條北小学校・八條中学校の交流活動を実施するなど、児童生徒が円滑に統合校での生活になじめるよう配慮した取組を検討します。</p>	
16	<p>① 適正な通学距離基準について（第3章4.(2)）</p> <p>案文P.47において「通学距離は、小学校においては2km以内を基準とします。」とされていますが、小学校の通学距離基準を2kmとすることについては、見直しの必要があると考えます。</p> <p>小学校低学年児童の歩行速度は一般に遅く、仮に徒歩速度を35m/分とすると、片道2kmの移動には約60分を要する計算となります。特に低学年児童にとって、この距離を徒歩で通学することは身体的負担が大きく、安全面から見てもひとり通学は現実的とは言い難い距離であると考えられます。</p> <p>また、近年は共働き世帯が一般化しており、長距離通学を前提とした場合、結果的に保護者の送迎に依存した通学形態となる可能性があります。八潮市は若年層の転入世帯が多く、共働き家庭の割合も高いことを踏まえると、通学距離基準が保護者に負担を強いるものとなることは望ましくありません。</p> <p>さらに、八潮市の通学路環境には以下の特徴があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準歩道や狭あい道路が多い</li> <li>・準工業地域が広がり、大型車両の通行が多い</li> <li>・幹線道路以外でも交通量が多い</li> </ul> <p>このような環境下では、通学距離が長くなるほど、児童が交通事故リスクにさらされる時間も増加します。</p> <p>近年、登下校時の事故が社会問題となっていることを踏まえると、安全面からも慎重な検討が必要であると考えます。</p> <p>なお、隣接自治体である足立区のガイドラインでは、児童の歩行能力や安全性を踏まえた現実的な以下の基準が設定されていますが、個人的には1000m程度が理想かと考えます。</p> <p>小学校：1,200m（徒歩速度40m/分）  中学校：1,800m（徒歩速度60m/分）</p> <p>以上を踏まえ、県内他市の基準を形式的に踏襲するのではなく、八潮市の道路状況や交通環境、児童の安全確保を最優先とした「実効性のある通学距離基準」への引き下げについて、再検討されることを要望いたします。</p> <p>② 校舎の耐用年数を見据えた建替時期の平準化について（第3章(7)）</p> <p>本計画では、学校配置や児童生徒数の将来推計について詳細に分析されていますが、校舎の老朽化および建替時期の集中に関する視点については、十分に整理されていないように見受けられます。</p> <p>市内の多くの校舎は、昭和45年から昭和55年頃までの約10年間に集中して建設されており、将来的に更新時期が同時期に到来する見込みです。</p>	<p>① 適正な通学距離基準について</p> <p>国では、公立小・中学校の通学距離について小学校ではおおむね4km以内、中学校ではおおむね6km以内という基準を定めており、この国の基準をもとに、本市では、通学上の安全確保や通学時間、体格・体力等を考慮し、通学距離は小学校がおおむね2km以内、中学校がおおむね4km以内としているところでございます。</p> <p>通学区域の設定は、距離だけでなく、各町会・自治会の単位ごとに設定されている等、これまでの歴史や経緯もあることから、距離基準を引き下げて通学区域を変更することは大きな困難が予想されるものと考えます。</p> <p>② 校舎の耐用年数を見据えた建替時期の平準化について</p> <p>学校施設の整備については、これまでも長寿命化改修等を実施しながら、計画的な維持管理に努めてきたところであり、今後も、施設の状況や財政負担、事業実施体制等を踏まえながら、適切に対応していく必要があると考えておりますので、いただいたご意見も踏まえながら、今後、学校施設長寿命化計画の見直しを進めてまいります。</p> <p>③ 八潮中学校を活用した小中一貫校整備の検討について</p> <p>学校配置の検討にあたっては、児童生徒数の将来推計に加え、施設更新の視点や教育環境の確保、防災機能の確保など、市全体のまちづくりも含めた様々な観点から総合的に検討を行う必要があります。いただいたご提案は、今後の学校の適正配置を検討する中で参考とさせていただきます。</p>	C

<p>校舎の目標使用年数は80年程度と想定していますが、この前提に立つと、2050年前後までに市内の多くの校舎で建替が必要となることが想定されます。すなわち、今後25～35年程度の期間内に、ほぼすべての校舎の更新を完了しなければなりません。</p> <p>校舎建替は、  仮設校舎の建設 → 既存校舎の解体 → 新校舎建設 → 仮設校舎の撤去  といった長期かつ大規模な工程を伴います。</p> <p>これらを複数校で同時並行的に実施することは、行政職員の業務負担（構想立案、設計調整、工事監督、地域調整等）の増大を招くほか、財政負担の観点からも現実的に困難となる可能性があります。また、建替期間中は仮設校舎の設置が必要となりますが、学校敷地に十分な余裕がない場合には、すべての児童生徒を同一敷地内で受け入れることが困難となることも想定されます。</p> <p>さらに、仮設校舎の設置により校庭の一部が使用できなくなる場合、教育活動への影響に加え、災害時の避難スペースが縮小することとなり、防災拠点としての学校機能にも影響を及ぼす可能性があります。</p> <p>このため、学校配置の検討においては、将来人口推計への対応だけでなく、次の観点を含めた中長期的な施設更新計画を併せて検討することが重要であると考えます。</p> <p>将来の建替を見据えた学校規模の分散という視点も検討に値すると考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来的な校舎建替の実施可能性</li> <li>・仮設校舎の設置スペースの確保</li> <li>・建替工事期間中の教育環境の維持</li> <li>・地域防災拠点としての機能確保</li> </ul> <p>以上を踏まえ、今後の学校施設整備においては、以下の視点を盛り込み、中長期的なロードマップを策定していただくことを要望します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 建替時期の前倒しおよび分散化  物理的寿命のみを基準とするのではなく、計画的に建替時期を分散させることで、財政負担および事業実施体制の平準化を図ること。</li> <li>2. 敷地拡張および移転新築の検討  仮設校舎の設置が困難な場合には、用地取得による敷地拡張や、公有地の集約による移転新築なども含め、中長期的なアセットマネジメントの観点から検討を行うこと。</li> <li>3. 適正規模の再検討</li> </ol> <p>将来の建替事業を見据え、1校あたりの児童生徒数を分散・適正化するなど、施設更新を前提とした学校規模のあり方について検討すること。</p> <p>③ 八潮中学校を活用した小中一貫校整備の検討について  将来的な学校配置の検討にあたり、「八潮中学校」を活用した小中一貫校（施設一体型）の整備を検討対象として位置付けることを提案します。</p> <p>本提案は、通学距離の適正化、学校施設更新時期の平準化、小中一貫教育の推進、さらには都市拠点形成といった複数の政策課題に対応する可能性を有することから、中長期的な学校施設整備の選択肢として検討する価値があると考えます。</p>		
---	--	--

	<p>まず、通学距離の観点です。図1は各小学校を起点とした1000m圏を描写した地図ですが、八潮市役所（本庁舎）周辺は、人口密集地域にも関わらず空白地域となっています。</p> <p>仮に八潮中学校に小学校機能を併設した場合、周辺地域における通学距離の短縮（空白地帯の解消）および小学校配置の分散化が期待できます。</p> <p>次に、学校施設更新の観点です。この点において、比較的新しい施設を活用した学校機能の再配置は、長期的な施設更新計画の観点からも検討する余地があると考えられます。</p> <p>八潮中学校は平成2年（1990年）築で、市内学校施設の中でも比較的新しい校舎であり、敷地面積は約27,936㎡と市内中学校の中でも最大級の規模を有しており、現校庭や駐車場へ新校舎を増築することは可能だと考えられます。こうした条件を踏まえると、小学校機能の併設を含めた施設整備の可能性について検討する余地があると考えられます。</p> <p>さらに、八潮中学校は八潮市役所本庁舎に隣接する位置にあり、周辺には八潮メセナや中央公園などの公共施設が集積されております。</p> <p>市役所周圍一帯は、新庁舎建設工事を経て美しく生まれ変わる予定でもあります。このエリアは行政・文化機能が集まる市の中心拠点としての性格を有しており、いわゆる「シビックセンター」を形成する地区と位置付けることができます。</p> <p>こうした都市拠点に新たに小学校機能を配置することは、災害時の避難拠点機能の強化や地域コミュニティの中心形成、公共施設の相互利用などの観点からも合理性があると考えられます。</p> <p>また、本計画では学校の新築・建替え等を行う際には施設一体型または施設併設型の小中一貫校も視野に入れる（案文P37）とされており、本提案は本市の教育政策の方向性とも整合するものと考えられます。</p> <p>以上を踏まえ、将来的な学校配置および学校施設整備の検討において、八潮中学校を活用した小中一貫校整備について、具体的な検討対象の一つとして計画上に位置付けることを要望します。</p>		
17	<p>八じょう北小学校に入学したから八じょう北小でできたお友だちとそつぎょうしたいです。人数が少ないからにがてなお勉強やうんどうをていねいにやさしく先生が教えてくれてうれしいです。</p> <p>楽しい思い出でいっぱい为学校がなくなってしまうのはとてもさみしいです。</p>	<p>小規模校は、学級数が少ないことによる学校運営上の課題、複式学級による課題、教職員数が少ないことによる学校運営上の課題等が多数発生します。その結果、児童生徒が落ち着いて学校生活を送ることができる環境や、安全に登下校できる環境を確保することが困難となり、これらの問題が児童生徒に悪影響を与える可能性があります。</p> <p>八潮市教育計画に掲げる基本理念「明日の八潮を担う人づくり～「共生・協働」「安全・安心」を基盤として～」を実現し、児童生徒の確かな学力や豊かな心を育成していくためには、急速に進行する小規模校化といった学校規模の課題の解決は必須であると考えられます。</p> <p>さらに、八條北小学校は、推計上は令和8年度より複式学級が発生する見込みとなっていたものの、実際には令和8年度及び令和9年度においては回避できる見込みであり、令和13年度頃から複式学級が発生する可能性が高いと想定しておりました。</p> <p>しかしながら、当初の想定よりも児童数の減少が早く進んだことにより、令和8年度において2年生と3年生で複式学級が発生しており、学級の運営や教員の配置といった教育環境への影響に加え、児童にとっては、将来大きな集団への適応に課題を有する可能性があること等を踏まえると、早期の統合が避けられない状況にあるものと考えております。</p> <p>このため、統合時期については、これを可能な限り早期に解消する必要があることから、令和10年4月というスケジュール（案）をお示ししているところでございます。</p>	D

18	<p>今、僕の妹が八條北小学校に通っているのですが、閉校が予定されている年に小学6年生になります。</p> <p>小学校の最後の学年ということもあり、転校先の八條小学校の生徒の間ではすでに根強い友情関係が築かれていて、そこに少人数でかつとても国際的な生徒が多い八條北小学校の生徒が移ったとき、簡単に他の生徒と馴染めるとは思えません。年頃からもいじめがないとは言い切れないと思います。妹の兄としてとても心配です。更に中学校受験を考えている妹に最後の1年で環境を変えてほしくないという強い思いがあります。どうか、今八條北小学校に通っている生徒が全員卒業するまでお待ちください。</p>	<p>小規模校は、学級数が少ないことによる学校運営上の課題、複式学級による課題、教職員数が少ないことによる学校運営上の課題等が多数発生します。その結果、児童生徒が落ち着いて学校生活を送ることができる環境や、安全に登下校できる環境を確保することが困難となり、これらの問題が児童生徒に悪影響を与える可能性があります。</p> <p>八潮市教育計画に掲げる基本理念「明日の八潮を担う人づくり～「共生・協働」「安全・安心」を基盤として～」を実現し、児童生徒の確かな学力や豊かな心を育成していくためには、急速に進行する小規模校化といった学校規模の課題の解決は必須であると考えられます。</p> <p>さらに、八條北小学校は、推計上は令和8年度より複式学級が発生する見込みとなっていたものの、実際には令和8年度及び令和9年度においては回避できる見込みであり、令和13年度頃から複式学級が発生する可能性が高いと想定しておりました。</p> <p>しかしながら、当初の想定よりも児童数の減少が早く進んだことにより、令和8年度において2年生と3年生で複式学級が発生しており、学級の運営や教員の配置といった教育環境への影響に加え、児童にとっては、将来大きな集団への適応に課題を有する可能性があること等を踏まえると、早期の統合が避けられない状況にあるものと考えております。</p> <p>このため、統合時期については、これを可能な限り早期に解消する必要があることから、令和10年4月というスケジュール（案）をお示ししているところでございます。</p> <p>一方で、統合に伴い、教育環境が大きく変わること、新しい友達や先生との人間関係を構築しなければならないことから、児童生徒に精神的な負担がかかることが懸念されます。</p> <p>そのため、統合に向けて児童生徒に対しても十分な説明を行うとともに、統合前の段階から八條小学校・八條北小学校・八條中学校の交流活動を実施するなど、児童生徒が円滑に統合校での生活になじめるよう配慮した取組を検討します。</p>	D
19	<p>今、友達の妹が八條北小学校に通っているのですが、閉校が予定されている年に小学6年生になります。最後の学年ということもあり、転校先の八條小学校の生徒間ではすでに根強い友情関係が築かれていて、そこに少人数で、かつとても国際的な生徒が多い八條北小学校の生徒が移ったとき、簡単に他の生徒と馴染めるとは思えません。</p> <p>年頃からもいじめがないとは言い切れないと思います。知人としてとても心配です。更に中学校受験を考えている友人の妹に最後の1年で環境を変えてほしくないという強い思いがあります。どうか、今八條北小学校に通っている生徒が全員卒業するまでお待ちください。</p>	<p>小規模校は、学級数が少ないことによる学校運営上の課題、複式学級による課題、教職員数が少ないことによる学校運営上の課題等が多数発生します。その結果、児童生徒が落ち着いて学校生活を送ることができる環境や、安全に登下校できる環境を確保することが困難となり、これらの問題が児童生徒に悪影響を与える可能性があります。</p> <p>八潮市教育計画に掲げる基本理念「明日の八潮を担う人づくり～「共生・協働」「安全・安心」を基盤として～」を実現し、児童生徒の確かな学力や豊かな心を育成していくためには、急速に進行する小規模校化といった学校規模の課題の解決は必須であると考えられます。</p> <p>さらに、八條北小学校は、推計上は令和8年度より複式学級が発生する見込みとなっていたものの、実際には令和8年度及び令和9年度においては回避できる見込みであり、令和13年度頃から複式学級が発生する可能性が高いと想定しておりました。</p> <p>しかしながら、当初の想定よりも児童数の減少が早く進んだことにより、令和8年度において2年生と3年生で複式学級が発生しており、学級の運営や教員の配置といった教育環境への影響に加え、児童にとっては、将来大きな集団への適応に課題を有する可能性があること等を踏まえると、早期の統合が避けられない状況にあるものと考えております。</p> <p>このため、統合時期については、これを可能な限り早期に解消する必要があることから、令和10年4月というスケジュール（案）をお示ししているところでございます。</p> <p>一方で、統合に伴い、教育環境が大きく変わること、新しい友達や先生との人間関係を構築しなければならないことから、児童生徒に精神的な負担がかかることが懸念されます。</p>	D

		<p>そのため、統合に向けて児童生徒に対しても十分な説明を行うとともに、統合前の段階から八條小学校・八條北小学校・八條中学校の交流活動を実施するなど、児童生徒が円滑に統合校での生活になじめるよう配慮した取組を検討します。</p>	
20	<p>今、私の妹が八條北小学校に通っているのですが、閉校が予定されてる年に小学6年生になりますが、妹や妹よりも年下の子も卒業できないで転校し、急になれない環境で過ごすということは最初の頃はストレスが溜まる原因にもなります。しかも、通学が今でも遠い子がさらに遠くなってしまい、親が送り迎えをしたり、歩いていくとしても交通事故や事件に巻き込まれるリスクも高くなります。冬になると日が短くなるので早く暗くなり危険です。さらに、少人数制という魅力に引かれて入った人もいないはずで、今までより人数が多くなると、馴れない子などがもしかしたらイジメにあうかもしれない、そのような様々な点を踏えて、その決断が本当に正しいのかよく考えてもらいたいと思います。今八條北小学校に通っている生徒だけでも卒業させてあげてほしいなと思います。</p>	<p>小規模校は、学級数が少ないことによる学校運営上の課題、複式学級による課題、教職員数が少ないことによる学校運営上の課題等が多数発生します。その結果、児童生徒が落ち着いて学校生活を送ることができる環境や、安全に登下校できる環境を確保することが困難となり、これらの問題が児童生徒に悪影響を与える可能性があります。</p> <p>八潮市教育計画に掲げる基本理念「明日の八潮を担う人づくり～「共生・協働」「安全・安心」を基盤として～」を実現し、児童生徒の確かな学力や豊かな心を育成していくためには、急速に進行する小規模校化といった学校規模の課題の解決は必須であると考えられます。</p> <p>さらに、八條北小学校は、推計上は令和8年度より複式学級が発生する見込みとなっていたものの、実際には令和8年度及び令和9年度においては回避できる見込みであり、令和13年度頃から複式学級が発生する可能性が高いと想定しておりました。</p> <p>しかしながら、当初の想定よりも児童数の減少が早く進んだことにより、令和8年度において2年生と3年生で複式学級が発生しており、学級の運営や教員の配置といった教育環境への影響に加え、児童にとっては、将来大きな集団への適応に課題を有する可能性があること等を踏まえると、早期の統合が避けられない状況にあるものと考えております。</p> <p>このため、統合時期については、これを可能な限り早期に解消する必要があることから、令和10年4月というスケジュール（案）をお示ししているところでございます。</p> <p>一方で、統合に伴い、教育環境が大きく変わること、新しい友達や先生との人間関係を構築しなければならないことから、児童生徒に精神的な負担がかかることが懸念されます。</p> <p>そのため、統合に向けて児童生徒に対しても十分な説明を行うとともに、統合前の段階から八條小学校・八條北小学校・八條中学校の交流活動を実施するなど、児童生徒が円滑に統合校での生活になじめるよう配慮した取組を検討します。</p>	D
21	<p>私は保育士の資格を持っています。</p> <p>孫は、八條北小学校に特認校制度を使い毎日、楽しく通っています。</p> <p>毎年、遊具がたくさんある、広大な校庭でのとてもアットホームな小中合同運動会。普段から縦割り学習を取り入れたり、音楽の時間にいろんな楽器を触らせたり、バスに乗って、社会科見学に行ったり、持久走大会、写生大会など・・・今は、人数が多すぎて先生が見切れないのか行わない学校もあると聞きました。</p> <p>このように八條北小学校は、今の時代には珍しく、自然豊かな場所にあり、少人数だからこそ、子供たちに貴重な経験をさせてあげられることのできる、とても、魅力的な学校だと思います。</p> <p>廃校にするというのは、あまりにももったいない話です。</p> <p>どうにか活用する方法は、ないのでしょうか？</p> <p>八條北小学校ならではの特色を生かした教育を継続していただけることを願っています。</p>	<p>小規模校は、学級数が少ないことによる学校運営上の課題、複式学級による課題、教職員数が少ないことによる学校運営上の課題等が多数発生します。その結果、児童生徒が落ち着いて学校生活を送ることができる環境や、安全に登下校できる環境を確保することが困難となり、これらの問題が児童生徒に悪影響を与える可能性があります。</p> <p>八潮市教育計画に掲げる基本理念「明日の八潮を担う人づくり～「共生・協働」「安全・安心」を基盤として～」を実現し、児童生徒の確かな学力や豊かな心を育成していくためには、急速に進行する小規模校化といった学校規模の課題の解決は必須であると考えられます。</p> <p>さらに、八條北小学校は、推計上は令和8年度より複式学級が発生する見込みとなっていたものの、実際には令和8年度及び令和9年度においては回避できる見込みであり、令和13年度頃から複式学級が発生する可能性が高いと想定しておりました。</p> <p>しかしながら、当初の想定よりも児童数の減少が早く進んだことにより、令和8年度において2年生と3年生で複式学級が発生しており、学級の運営や教員の配置といった教育環境への影響に加え、児童にとっては、将来大きな集団への適応に課題を有する可能性があること等を踏まえると、早期の統合が避けられない状況にあるものと考えております。</p>	D

		このため、統合時期については、これを可能な限り早期に解消する必要があることから、令和10年4月というスケジュール（案）をお示ししているところでございます。	
22	<p>スマートインター、道の駅、商業施設などの建設計画が決定なのは、仕方のないことだが、八潮市として、八條エリアの住民の生活と子供達の教育環境を最優先に考えるべきだと思う。</p> <p>小規模特認校を廃止するのも仕方がないがその制度を使って通う予定だった子の面倒は、やはり、統合や閉校を少し延期してでも最後まで見届けるべきだと思う。</p> <p>いきなり手のひら返しというのは、流石に市民から納得できないと反発されてしまうのは、当然だと思う。</p>	<p>八條北小学校は、推計上は令和8年度より複式学級が発生する見込みとなっていたものの、実際には令和8年度及び令和9年度においては回避できる見込みであり、令和13年度頃から複式学級が発生する可能性が高いと想定しておりました。</p> <p>しかしながら、当初の想定よりも児童数の減少が早く進んだことにより、令和8年度において2年生と3年生で複式学級が発生しており、学級の運営や教員の配置といった教育環境への影響に加え、児童にとっては、将来大きな集団への適応に課題を有する可能性があること等を踏まえると、早期の統合が避けられない状況にあるものと考えております。</p> <p>このため、統合時期については、これを可能な限り早期に解消する必要があることから、令和10年4月というスケジュール（案）をお示ししているところでございます。</p> <p>なお、スマートインターチェンジの建設等に関するご意見については、関係部署と共有させていただきます。</p>	D
23	<p>当時、娘は、たくさん悩んで、八條北小学校へ孫を預けると決意しました。</p> <p>統合、閉校は、せめて卒業するまで待ってあげてほしいです。</p> <p>吉川市に住んでいる、長女の意見も代弁させてください。</p> <p>たかがあと数年延期することは、そこまで難しいことではないと思います。</p>	<p>八條北小学校は、推計上は令和8年度より複式学級が発生する見込みとなっていたものの、実際には令和8年度及び令和9年度においては回避できる見込みであり、令和13年度頃から複式学級が発生する可能性が高いと想定しておりました。</p> <p>しかしながら、当初の想定よりも児童数の減少が早く進んだことにより、令和8年度において2年生と3年生で複式学級が発生しており、学級の運営や教員の配置といった教育環境への影響に加え、児童にとっては、将来大きな集団への適応に課題を有する可能性があること等を踏まえると、早期の統合が避けられない状況にあるものと考えております。</p> <p>このため、統合時期については、これを可能な限り早期に解消する必要があることから、令和10年4月というスケジュール（案）をお示ししているところでございます。</p>	D
24	<p>娘は、小さい頃から、大人数の中で生活することが苦手で、少しマイペースなところがあり、いろんなことを理解するまでに時間がかかる時があります。</p> <p>なので、我が家は、本来なら●●小学区ですが4年前に小規模特認校制度に魅力を感じ家族内で話し合い、八條北小学校に娘を入学させました。</p> <p>その時の校長面談では、「6年間、送迎さえきちんとしてもらえたら、他には、何の心配もいりません。いずれ、八條中も小規模特認校になって、小中一貫校のように9年間、通えるようになる予定です。」と伺った記憶があります。</p> <p>なので、実家の両親にも協力してもらい、責任をもって、毎日きちんと時間通りの送迎をしているつもりです。</p> <p>こんなに大規模な計画なら何十年も前から決まっていたことでしょうし、入学する前に一言、決まっている範囲内の詳細の断りがあっても良かったのでは、ないかと思います。</p> <p>急に計画に邪魔だから出ていけと立ち退かれているようで、やり方があまりにも失礼で、無責任だと思います。我が家の大切な娘の未来計画が台無しです。</p>	<p>小規模校は、学級数が少ないことによる学校運営上の課題、複式学級による課題、教職員数が少ないことによる学校運営上の課題等が多数発生します。その結果、児童生徒が落ち着いて学校生活を送ることができる環境や、安全に登下校できる環境を確保することが困難となり、これらの問題が児童生徒に悪影響を与える可能性があります。</p> <p>八潮市教育計画に掲げる基本理念「明日の八潮を担う人づくり～「共生・協働」「安全・安心」を基盤として～」を実現し、児童生徒の確かな学力や豊かな心を育成していくためには、急速に進行する小規模校化といった学校規模の課題の解決は必須であると考えられます。</p> <p>さらに、八條北小学校は、推計上は令和8年度より複式学級が発生する見込みとなっていたものの、実際には令和8年度及び令和9年度においては回避できる見込みであり、令和13年度頃から複式学級が発生する可能性が高いと想定しておりました。</p> <p>しかしながら、当初の想定よりも児童数の減少が早く進んだことにより、令和8年度において2年生と3年生で複式学級が発生しており、学級の運営や教員の配置といった教育環境への影響に加え、児童にとっては、将来大きな集団への適応に課題を有する可能性があること等を踏まえると、早期の統合が避けられない状況にあるものと考えております。</p>	D

<p>せめて、小規模特認校で入学を認めた子に関しては、卒業まで見届けるのが筋では、無いでしょうか？それが責任だと思います。</p> <p>小規模特認校制度を取り入れたにもかかわらず、宣伝不足のせいで、市民どころか、いちばん伝えなくては、いけない年代の方々にすら、知れ渡っていないのが現状の特認校制度。</p> <p>特認校制度を取り入れて、近隣の幼稚園にピラを配って子供たちを集める努力は、したもののダメでしたと言わんばかりのあえての計画だったのでしょうか？</p> <p>そこにちょうど私たちが運悪く巻き込まれた状態なのでしょうか？</p> <p>バカにされたような感じがして、とても、不愉快です。</p> <p>計画によると八條北小学校が3年後に八條中が5年後に廃校予定ということは、娘は、今3年生なので、6年生の最後の年だけ、八條小へ通い卒業し、現八條中へ入学し、2年だけ通い、3年になったら新中学校へ移動して卒業ということになります。</p> <p>あっち行かせたりこっち行かせたり、まるで、モノのような扱い。</p> <p>子供たちの気持ちも考えず、傷つけ、振り回し、このようなことが原因で、いじめにつながったり、不登校になったら、市は、どう責任をとってくれるのか？とても心配ですし、不安で仕方ありません。</p> <p>メセナでの説明会に参加した時は、あまりにも突然すぎる内容の話ばかりで、何が起きているのか？と驚きを隠せず、ショックでした。</p> <p>その後、私と同じような考えを持った方々に話を聞いたり調べてみました。</p> <p>そして、教育委員会へ電話問い合わせをしてみたり、直接伺って質問しましたが、門前払い状態でした。</p> <p>子供を預けてまで、夜遅くの八條北小の体育館と八條中での説明会も参加しましたが市民の声に寄り添うどころか子供たちの気持ちも無視して、こんな計画です！！と浅はかな考えばかりで、まとまりのない答えばかりの言い切り、言い逃れだらけの報告会のようにすら感じました。</p> <p>メセナの説明会の時に、市内にスクールバスを走らせたらどうですか？と意見されている方がいましたが、その時は、「部署が違うから、すぐに答えられません予算の関係上…」と濁し、即答で却下していたのにも関わらず、八條中の説明会では、八條小から、家が遠い子供たちは、どのように通わせるのか？という質問に対し「スクールバスを出すなりします。」と即答されていたように記憶しています。</p> <p>そこに予算の違いは、無いのでしょうか？</p> <p>外環の下の交差点は、時間帯に関係なく常に渋滞エリアです。遅刻しないようにバスで幼い子供たちを送るには、一体、何時に起床させ集合させるつもりなのでしょうか？</p> <p>そこにかかるご家庭の負担などは、考えているのでしょうか？</p> <p>そして、何便出すつもりなのでしょうか？</p> <p>新八條中で自転車通学を許可するとしても冬場は、暗くなるのが早く、部活動をやり終えたあと、細く街灯の少ない暗い長距離を自転車で下校させるとの事ですがとても危険で毎日、子供が帰宅するまでの親の不安な気持ちは、理解できていますでしょうか？</p> <p>いずれ少子化により、学校が必要なくなるのに、莫大な税金を使ってまで、いまさら新しく立てたり、取り壊したりする必要が本当にあるのでしょうか？</p>	<p>このため、統合時期については、これを可能な限り早期に解消する必要があることから、令和10年4月というスケジュール（案）をお示ししているところでございます。</p> <p>一方で、統合に伴い、教育環境が大きく変わること、新しい友達や先生との人間関係を構築しなければならないことから、児童生徒に精神的な負担がかかることが懸念されます。</p> <p>そのため、統合に向けて児童生徒に対しても十分な説明を行うとともに、統合前の段階から八條小学校・八條北小学校・八條中学校の交流活動を実施するなど、児童生徒が円滑に統合校での生活になじめるよう配慮した取組を検討します。</p>	
--	---	--

	<p>まず、市内にバスを循環させて市内の小学校へ送迎して市内全体で不登校児童や特別なクラスを作り、不登校児童をどうにか社会に出ていける教育をしてあげた方がいいと思います。</p> <p>今ある駅周辺の学校に集中してパンク状態になることを解決するようなことは、できないのでしょうか？</p> <p>中学校の部活動なども…</p> <p>子供達の生きる環境を整えるどころが奪ってしまっているようにしか思えないです。</p> <p>これは、八條エリアだけでは、なく八潮全体の課題なのに八潮市民が知らなすぎる事が問題なのは、無いでしょうか？</p> <p>我々、八潮市民の税金です。</p> <p>市民の知らないところでの無駄遣いは、控えていただきたい。</p> <p>市民の納得のいく使い方をお願いします。</p> <p>八潮市は、都内に近く、交通の便がいいため最近では、ドラマの撮影があつたり、ドキュメンタリー番組で八潮市が特集される番組があつたりと注目されてる街になってきていると思います。</p> <p>このようなことなども、うまく活用して、今後は、ふるさと納税で、納税されるような活気のあるまちづくりを期待してほしいと思います。</p>		
25	<p>最近、ふと思い出したかのように娘が「八北が大好きだから、違う学校へ通うのは不安だし嫌だなあ」と寂しそうに呟いていました。</p> <p>そのような光景を目にすると、子どもたちの気持ちを無視してまで、早急に進めなくては、ならない計画なのだろうか？と思わずには、いられない。</p> <p>私は、八潮高校の卒業生だが、八潮高校の閉校と同様にすべての生徒たちを見届けてから、閉校というわけには、いかないのであろうか？</p> <p>不登校一歩手前のデリケートな子供たちも受け入れていることも魅力の八北小。</p> <p>小学校6年間で過ごす環境は、子供たちには、とても重要だと思っている。そのようなことも含めて、子供達のメンタル面が1番心配だ。</p>	<p>八條北小学校は、推計上は令和8年度より複式学級が発生する見込みとなっていたものの、実際には令和8年度及び令和9年度においては回避できる見込みであり、令和13年度頃から複式学級が発生する可能性が高いと想定しておりました。</p> <p>しかしながら、当初の想定よりも児童数の減少が早く進んだことにより、令和8年度において2年生と3年生で複式学級が発生しており、学級の運営や教員の配置といった教育環境への影響に加え、児童にとっては、将来大きな集団への適応に課題を有する可能性があること等を踏まえると、早期の統合が避けられない状況にあるものと考えております。</p> <p>このため、統合時期については、これを可能な限り早期に解消する必要があることから、令和10年4月というスケジュール（案）をお示ししているところでございます。</p> <p>一方で、統合に伴い、教育環境が大きく変わることで、新しい友達や先生との人間関係を構築しなければならないことから、児童生徒に精神的な負担がかかることが懸念されます。</p> <p>そのため、統合に向けて児童生徒に対しても十分な説明を行うとともに、統合前の段階から八條小学校・八條北小学校・八條中学校の交流活動を実施するなど、児童生徒が円滑に統合校での生活になじめるよう配慮した取組を検討します。</p>	D
26	<p>① 意思決定過程の透明性の確保について</p> <p>小規模特認校制度の休止について、現在パブリックコメントによる市民意見の募集が行われている最中ですが、教育委員会において制度の休止が正式決定され、対象家庭への通知も既に行われています。</p> <p>さらに、パブリックコメント募集ページにおいても、「令和8年2月17日に開催された令和8年第2回八潮市教育委員会において、『八潮市立学校小規模特認校制度に関する要綱の停止に関する告示について』の議案が承認されたことを受け、正式に休止することが決定したため。」と記載されており、制度休止が既定事項として示されているように受け取れる状況となっています。</p>	<p>小規模特認校制度については、八潮市学校適正配置指針・計画の見直しに係る保護者説明会において、「小規模特認校制度により入学した児童は卒業まで在学させてほしい」との意向が出席者から寄せられたため、令和6年度に実施した児童数推計の結果により八條北小学校の統合が避けられないことが見込まれた状況にあつては、少しでもその部分の影響を受けないよう、新たに小規模特認校制度を利用する入学を受け付けないことについて、令和7年8月20日に開催された「令和7年第8回教育委員会定例会」において協議したところです。</p> <p>その後、「八潮市学校適正配置指針・計画策定委員会」での議論を経て、北部3校の保護者や関係する町会・自治会の方々への説明を行い、その結果を踏まえて、小規模特認校制度の休止について教育委員会としての判断をいただくため、令和7年12月23日に開催された「令和7年第12回教育委員会定例会」で議案を提出する予定としておりました。しかしながら、その前日の12月22日に開催し</p>	D

<p>一方で、小規模特認校制度は「学校適正配置指針・計画」において大切な役割を担う制度として位置付けられており、計画全体(特に北部地区の計画)とも密接に関係する事項であると理解しています。</p> <p>そのため、本来であればパブリックコメントを通じて市民意見を広く募り、それらを踏まえたうえで最終的な意思決定がなされることが望ましいのではないかと感じています。</p> <p>■ パブリックコメント制度との関係について</p> <p>パブリックコメントの結果が示される前に制度休止が決定され、通知まで行われている状況は、パブリックコメント制度の趣旨である「市民意見の反映」や「意思決定過程の透明性の確保」との関係において、市民にとって理解に苦しむ部分があるように感じられます。</p> <p>もし意思決定が既に完了していると受け取られる状況であるとすれば、市民は何に対して意見を求められているのかという疑問を抱いてしまいます。</p> <p>結果として、パブリックコメント制度そのものへの信頼や行政手続きへの信頼に影響を与えることも懸念されます。</p> <p>■ 説明会での説明との関係について</p> <p>令和7年11月~12月に北部地区関係者向けに開催された説明会では、教育委員会のご担当者より、「今後、当計画についてはパブリックコメントを経て、必要なものは議会にも諮って決定していく。」との説明があったと記憶しています。</p> <p>今回の制度休止決定の進め方については、この説明との関係性が市民にとって理解しがたい部分があるように感じています。</p> <p>説明会で示された方針と実際の手続きの関係について、改めて丁寧な説明があることが望ましいのではないのでしょうか。</p> <p>■ 特色ある教育に関する説明について</p> <p>同説明会では、「小規模特認校制度が休止となった場合でも、小規模校としての特色ある教育は変えることなく行っていく」との説明がありました。</p> <p>しかし、パブリックコメントで公開されている計画案(修正後)では、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模特認校制度は休止する</li> <li>・特色ある活動については「実施できるよう検討する」</li> </ul> <p>との表現となっており、説明会での説明と文書上の表現との間に差があるように受け取られます。</p> <p>この点については複数の保護者が不安を感じている部分でもあり、説明内容の一貫性や今後の方針について、より明確な説明があることが望ましいと感じています。</p> <p>以上の点を踏まえると、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パブリックコメントの実施と制度休止決定の関係</li> <li>・説明会での説明と実際の手続きとの関係</li> <li>・特色ある教育の今後の扱い</li> </ul> <p>について、市民にとって理解しやすい形で整理し直すことが、行政手続きの透明性と市民の信頼を確保するうえで重要ではないかと考えます。</p>	<p>た、八潮市学校適正配置指針・計画の見直しに係る保護者・八條地区説明会の場で、任意団体の方から「八潮市学校適正配置指針・計画の見直しに関する要望書」が提出され、要望事項の中に「小規模特認校制度の継続」を要望する内容が含まれていたため、その精査が必要な状況となり、「令和7年第12回教育委員会定例会」への議案の提出を見合わせました。</p> <p>その後、要望書に対する回答の方針が定まったため、令和8年2月17日に開催された「令和8年第2回八潮市教育委員会定例会」に議案を提出して議決され、これに伴い、小規模特認校制度の休止を決定したものでございます。</p> <p>なお、令和8年2月16日から、学校適正配置指針・計画(案)についてのパブリックコメントを開始していたところですが、学校適正配置指針・計画(案)の記載内容の一部に変更が生じたため、速やかに訂正させていただいたものでございます。</p> <p>併せて、この小規模特認校制度の休止については、学校運営に影響するものであり、年度の区切りで行うべきものであると捉え、パブリックコメントの意見募集の期間中ではありましたが、その影響を鑑みた対応としております。</p> <p>特色ある教育については、小規模特認校制度が休止となっても、意見にも記載されていた「特色ある教育は変えることなく行っていく」との考えに変わりはなく、計画案に記載の「実施できるよう検討する」という表現もまた事実であり、「特色ある教育を続けることができるように教員の配置等において努力を重ねる」という考え方となりますが、複式学級が発生することにより教員の配置等が困難になることが危惧されるものです。</p> <p>子ども基本法や子どもの権利条約において、子どもの意見に関する記述があることは認識しているところですが、学校の適正配置や統合といった教育環境に関する事項については、児童生徒数の将来推計や通学環境、安全性、施設整備など、多角的かつ長期的な視点から総合的に判断する必要があることから、これまで主に保護者や地域の皆さまからのご意見を伺いながら進めてきたところです。</p> <p>八條北小学校は、推計上は令和8年度より複式学級が発生する見込みとなっていたものの、実際には令和8年度及び令和9年度においては回避できる見込みであり、令和13年度頃から複式学級が発生する可能性が高いと想定しておりました。</p> <p>しかしながら、当初の想定よりも児童数の減少が早く進んだことにより、令和8年度において2年生と3年生で複式学級が発生しており、学級の運営や教員の配置といった教育環境への影響に加え、児童にとっては、将来大きな集団への適応に課題を有する可能性があること等を踏まえると、早期の統合が避けられない状況にあるものと考えております。</p> <p>このため、統合時期については、これを可能な限り早期に解消する必要があることから、令和10年4月というスケジュール(案)をお示ししているところでございます。</p> <p>一方で、統合に伴い、教育環境が大きく変わること、新しい友達や先生との人間関係を構築しなければならないことから、児童生徒に精神的な負担がかかることが懸念されます。</p> <p>そのため、統合に向けて児童生徒に対しても十分な説明を行うとともに、統合前の段階から八條小学校・八條北小学校・八條中学校の交流活動を実施するなど、児童生徒が円滑に統合校での生活になじめるよう配慮した取組を検討します。</p>
---	---

<p>学校の在り方は地域社会に大きな影響を与える重要なテーマです。そのため、手続きの妥当性や説明内容の整合性について丁寧に確認したうえで、改めて検討を進めていただくことを期待しています。</p> <p>② 八潮市学校適正配置指針・計画(案)及び北部地区個別計画(案)の改善提案 教育委員会ならびに計画策定委員会の皆様におかれましては、八條北小学校・八條中学校が直面する児童数減少や地域環境の変化という難しい課題に向き合い、将来の教育環境を見据えた検討を重ねてこられていることに、まず敬意を表します。</p> <p>児童にとって継続性ある教育環境を整えようという思いから、八條小学校との統合校設置という案が提示されていることについても理解しております。</p> <p>そのうえで、今回の計画について、将来に向けてより丁寧な検討が必要ではないかと感じている点があります。</p> <p>第一に、当事者である子どもたちの声が、検討過程に十分に反映されているのかという点です。保護者や地域住民の意見は集められている一方で、児童本人に対する説明や意見聴取の機会については、設けられていないように感じています。</p> <p>学校統合は、一度決定されれば簡単に元に戻すことのできない大きな変化です。そのため、子どもたち自身がどのように感じ、どのような不安や希望を抱いているのかを丁寧に聞き取りながら進めていくことが重要ではないかと考えます。</p> <p>日本が批准している「子どもの権利条約」においても、子どもに関わる重要な事柄については、子ども自身の意見を尊重することが求められています。また、「子ども基本法」においても子どもの意思表明の機会の確保について明記されています。加えて、文部科学省が示している学校統廃合に関する指針においても、地域や関係者との十分な合意形成を図ることの重要性が示されています。実際に私たち保護者は、子どもたちに「学校がなくなる可能性がある」「別の学校へ通うことになるかもしれない」と説明する場面に直面しています。その際、子どもたちから「どうしてそうなるの?」と問われ、十分に答えられず戸惑うこともあります。子どもたちが不安や悲しみを感じている様子を目の当たりにし、この問題の重さを改めて実感しています。</p> <p>子どもたちにとって学校は、単なる施設ではありません。</p> <p>友達と過ごす日常、先生との信頼関係、慣れ親しんだ校舎や地域環境など、日々の生活を支える大切な基盤です。そうした思いや考えが直接聞かれないまま計画が進んでいくことについて、多くの保護者が不安を感じているのではないかと思います。</p> <p>次に、これまで説明会が複数回開催され、市民が意見を述べる機会が設けられてきたことには感謝しております。一方で、説明会の場でも出された多くの意見や要望が、現時点で示されている計画にどのように反映されたのかについて、市民にとって分かりやすい形で示されているとは言い難いようにも感じられます。市民から寄せられた意見がどのように検討され、どのような理由で採用・不採用となったのかを丁寧に共有していただくことが、行政への信頼と合意形成を深めるうえで非常に重要ではないかと考えます。</p> <p>もし、市民や当事者である子どもたちの思いが十分に反映されないまま計画が進められるとすれば、それは結果として市民の行政への信頼を損なうことにもつながりかねません。教育は地域全体で支えていくものであり、信頼と納得の積み重ねの上に成り立つものだと思います。</p>		
---	--	--

	<p>また、仮に今回の案のとおり統合が行われたとしても、将来的に統合後の学校でも児童数の減少が進み、同様の課題に直面する可能性も考えられます。北部地域の人口動向や地域環境の変化といった要因も含め、より長期的な視点での検討が必要ではないでしょうか。その観点から、小規模特認校制度について改めて検討する価値があるのではないかと考えます。</p> <p>この制度はこれまで約5年間運用されてきましたが、その間、学校現場の先生方や教育委員会の皆様の努力により、少人数ならではの教育環境が丁寧に育まれてきたと感じています。</p> <p>一人ひとりに目が行き届く学びの環境や、縦割り学級を通じた異学年交流によって育まれる思いやりや責任感、英語が好きな子・得意な子を育むなど、小規模校ならではの価値が実際に生まれていると感じています。</p> <p>一方で、制度の認知不足や通学手段の問題など、運用上の課題があることも指摘されています。しかし、これらの多くは制度そのものの問題というよりも、周知や運用の工夫によって改善できる余地がある課題ではないでしょうか。</p> <p>これまで行政と学校現場が積み重ねてきた取り組みによって生まれた成果を、十分な改善を行う前に休止してしまうことは、非常にもったいないことのように感じられます。</p> <p>もしこの制度が「うまくいかなかった事例」として終わってしまえば、将来、別の地域で同様の課題が生じた際に、本来であれば活用できたはずの政策手段が取りにくくなってしまう可能性もあります。</p> <p>むしろ、これまでの成果を基盤として制度をさらに磨き、市民に広く認知される魅力ある教育の選択肢として発展させていくことができれば、市にとって大きな財産になるのではないのでしょうか。</p> <p>選択肢があることは、市民にとって安心感につながります。その環境で学びたい子、今の環境から変えたい子などの選択肢として、小規模で特色をもった学校があるということは、とても心強く、魅力的なことではないのでしょうか。</p> <p>利用を希望する家庭が増え、「八潮市にはこうした特色ある教育の選択肢がある」という成功事例として育てていくことができれば、市全体の教育の魅力向上にもつながると思います。</p> <p>今後、八條地区だけでなく、市内の他地域でも児童数の変化による学校規模の課題が生じる可能性があります。一方で、八潮駅周辺では児童数増加による別の課題も指摘されています。こうした状況を踏まえると、市全体として児童数の偏りをどのように調整していくのかという視点も重要になるのではないのでしょうか。</p> <p>現在示されている「特認校休止と学校統合」という案は、一度実施されれば後戻りが難しい大きな決断です。そのため、最も大切な当事者である子どもたちの声を丁寧に聞き取りながら、さまざまな選択肢を比較検討していただくことを強く望みます。</p> <p>子どもたちにとってより良い教育環境を実現するため、市民と行政が信頼関係を築きながら、幅広い視点からの再検討が行われることを期待しております。</p>		
27	<p>「このままでは八北がなくなってしまうよ」と父母に聞いた。友達からは聞いたことがあるけれど、先生から聞いたことがなかった。だから本当かどうかがわからない。私は、八北が一番好きな学校だ。去年、50周年式典をやった。みんなでいっしょけん命に練習した出し物を発表した。八北の50才をみんなで祝った。その時、本当に思った。「もう50年八北が続いてほしい、次はいつ祝うことができるのか。」それが楽しみだった。4月には、弟が入学する。弟も、しっかりと、入学した学校で卒業してほしい。最後まで、その学校で生活してほしい。私が中学生になって、八條北小がなくなっ</p>	<p>小規模校は、学級数が少ないことによる学校運営上の課題、複式学級による課題、教職員数が少ないことによる学校運営上の課題等が多数発生します。その結果、児童生徒が落ち着いて学校生活を送ることができる環境や、安全に登下校できる環境を確保することが困難となり、これらの問題が児童生徒に悪影響を与える可能性があります。</p>	D

	<p>てしまうと、中学校はひとりぼっちになってしまうそう。弟といっしょにかよえなくなるのはさびしい。</p> <p>八北をなくさないでください。友達もみんななくさないでほしいと言っています。卒業したいと言っています。八北が大好きです。みんなが大好きな八北をどうかなくさないでください。</p>	<p>八潮市教育計画に掲げる基本理念「明日の八潮を担う人づくり～「共生・協働」「安全・安心」を基盤として～」を実現し、児童生徒の確かな学力や豊かな心を育成していくためには、急速に進行する小規模校化といった学校規模の課題の解決は必須であると考えられます。</p> <p>さらに、八條北小学校は、推計上は令和8年度より複式学級が発生する見込みとなっていたものの、実際には令和8年度及び令和9年度においては回避できる見込みであり、令和13年度頃から複式学級が発生する可能性が高いと想定しておりました。</p> <p>しかしながら、当初の想定よりも児童数の減少が早く進んだことにより、令和8年度において2年生と3年生で複式学級が発生しており、学級の運営や教員の配置といった教育環境への影響に加え、児童にとっては、将来大きな集団への適応に課題を有する可能性があること等を踏まえると、早期の統合が避けられない状況にあるものと考えております。</p> <p>このため、統合時期については、これを可能な限り早期に解消する必要があることから、令和10年4月というスケジュール（案）をお示ししているところでございます。</p>	
28	<p>私の周りはみんな学校がなくなることを知りません。そして、みんな学校がなくなってしまうと知ったら悲しく、ショックだと思います。中学校では、学年を超えてみんな仲良くすることができています。他の中学校ではできないような田んぼで稲を植える体験や、先輩と後輩、関係なく仲良くできている、そして一番は先生が1人1人のことをしっかりと見てくれることです。人数が少ないからって学校をなくすのはよくないと思います。少ないからこそできる体験がたくさんあります。これから大事な受験がある人もいます。そんなときに環境を変えると、とても大きなストレスをかかえるでしょう。受験が被っていない人たちも、人数が少ないところから多いところへ変わるのも、ものすごいストレスが出てきます。私は大曾根小と八條北小をどちらもけいけんしています。八北へ体験入学をした時は、先生が心身によりそってくれてとても楽しかったです。そして大曾根小にもどった時の人数の多さ、先生の対応が違うことを実感しました。そして、私の弟と妹と一緒に大好きな学校に通いたいです。</p>	<p>小規模校は、学級数が少ないことによる学校運営上の課題、複式学級による課題、教職員数が少ないことによる学校運営上の課題等が多数発生します。その結果、児童生徒が落ち着いて学校生活を送ることができる環境や、安全に登下校できる環境を確保することが困難となり、これらの問題が児童生徒に悪影響を与える可能性があります。</p> <p>八潮市教育計画に掲げる基本理念「明日の八潮を担う人づくり～「共生・協働」「安全・安心」を基盤として～」を実現し、児童生徒の確かな学力や豊かな心を育成していくためには、急速に進行する小規模校化といった学校規模の課題の解決は必須であると考えられます。</p> <p>さらに、八條北小学校は、推計上は令和8年度より複式学級が発生する見込みとなっていたものの、実際には令和8年度及び令和9年度においては回避できる見込みであり、令和13年度頃から複式学級が発生する可能性が高いと想定しておりました。</p> <p>しかしながら、当初の想定よりも児童数の減少が早く進んだことにより、令和8年度において2年生と3年生で複式学級が発生しており、学級の運営や教員の配置といった教育環境への影響に加え、児童にとっては、将来大きな集団への適応に課題を有する可能性があること等を踏まえると、早期の統合が避けられない状況にあるものと考えております。</p> <p>このため、統合時期については、これを可能な限り早期に解消する必要があることから、令和10年4月というスケジュール（案）をお示ししているところでございます。</p> <p>一方で、統合に伴い、教育環境が大きく変わること、新しい友達や先生との人間関係を構築しなければならないことから、児童生徒に精神的な負担がかかることが懸念されます。</p> <p>そのため、統合に向けて児童生徒に対しても十分な説明を行うとともに、統合前の段階から八條小学校・八條北小学校・八條中学校の交流活動を実施するなど、児童生徒が円滑に統合校での生活になじめるよう配慮した取組を検討します。</p>	D
29	<p>私は、小規模特認校制度を休止するのではなく、今後も継続してほしいと強く願っています。約5年前、私たち家族は八條北小学校の校長先生と面談をしました。</p> <p>当時の校長先生はとても丁寧に学校のことを説明してくださいました。</p> <p>うちは3人の子どもがいますが、当時は下の子たちもまだ小さく「毎日の送り迎えは大丈夫ですか」「卒業まで通うとなると下のお子さんも入ることになりますが大丈夫ですか」と、保護者の負担についても心配して声をかけてくださったことを覚えています。</p>	<p>小規模特認校制度については、八潮市学校適正配置指針・計画の見直しに係る保護者説明会において、「小規模特認校制度により入学した児童は卒業まで在学させてほしい」との意向が出席者から寄せられたため、令和6年度に実施した児童数推計の結果により八條北小学校の統合が避けられないことが見込まれた状況にあつては、少しでもその部分の影響を受けないよう、新たに小規模特認校制度を利用する入学を受け付けないことについて、令和7年8月20日に開催された「令和7年第8回教育委員会定例会」において協議したところです。</p>	D

<p>小規模特認校制度を利用して子どもを通わせるとなると、保護者は通学時間や送迎など多くの負担があることを理解しました。</p> <p>それでも子どもにとって良い環境だと信じ、覚悟を持ってこの学校を選びました。</p> <p>生活や時間の使い方も大きく変わりましたが、それでも通わせたいと思える学校でした。今では、あの時の大きな決断は間違っていなかったと思っています。</p> <p>楽しそうに通う子どもたちを見て、八條北小学校、八條中学校に通わせて良かったと心から思っています。また、学力面だけでなく、絵画や工作などの分野でも児童が賞を受けるなど、子どもたちがそれぞれの力を伸ばしながら成長している姿があります。</p> <p>小規模校だからこそ一人ひとりに目が届き、子どもたちの個性や可能性を大切にしたい教育が行われているのではないかと感じています。</p> <p>人数が少ないことだけを理由に教育環境を評価するのではなく、実際に子どもたちがどのように成長しているのかという視点も大切にしていきたいです。</p> <p>4月からは一番下の子が八條北小学校一年生として入学します。</p> <p>入学に関して連絡がなかったため問い合わせたところ、今回の突然の制度休止を知り、とても戸惑いました。</p> <p>本人は「きょうだいと同じ小学校に行きたい」という気持ちが強く、通学時間や送迎のことも考え、同じ小学校に通わせることにしました。</p> <p>しかし「途中で違う小学校に行くかもしれない」と説明すると、「なんで?いやだ」と言い、理解できない様子でした。</p> <p>もし統合が実行されるのであれば、中学校とも数年間離れてしまう計画と聞いており、不安でいっぱいです。小中一貫教育をうたっていたのではなかったのでしょうか。</p> <p>そのような覚悟を持って通わせている保護者がいることを、ぜひ重く受け止めていただきたいです。</p> <p>しかし現在、特認校制度の休止が進められ、統合の方向に話が進んでいるように感じられることに強い疑問を感じています。</p> <p>説明会の際には「意見をすり合わせながら検討していく」と説明されていたにもかかわらず、そのような過程が十分に行われていないように感じられません。</p> <p>これまで説明会は開催されていますが、保護者や地域の意見がどのように検討に反映されているのかわかりにくく、十分に理解や納得が得られている状況とは言えないと感じています。</p> <p>また、「児童数が増えなかった」という理由が挙げられていますが、制度の周知や募集の取り組みが本当に十分に行われていたのか疑問があります。</p> <p>例えばチラシの配布などについても、実際にどの程度行われ、どのような反応があったのかなど、具体的な検証が必要ではないでしょうか。</p> <p>市内の別の小学校に通わせている友人や知人に聞いても、小規模特認校のことを知っている方に会ったことがなく、チラシも見たことがない、知らないと言われました。</p> <p>私の子どもが通っているため、私の周りには八條北小学校に通わせたいと考え、一緒に通うことになったご家庭もあります。</p> <p>通学の問題などであきらめたご家庭もありました。</p>	<p>その後、「八潮市学校適正配置指針・計画策定委員会」での議論を経て、北部3校の保護者や関係する町会・自治会の方々への説明を行い、その結果を踏まえて、小規模特認校制度の休止について教育委員会としての判断をいただくため、令和7年12月23日に開催された「令和7年第12回教育委員会定例会」で議案を提出する予定としておりました。しかしながら、その前日の12月22日に開催した、八潮市学校適正配置指針・計画の見直しに係る保護者・八條地区説明会の場で、任意団体の方から「八潮市学校適正配置指針・計画の見直しに関する要望書」が提出され、要望事項の中に「小規模特認校制度の継続」を要望する内容が含まれていたため、その精査が必要な状況となり、「令和7年第12回教育委員会定例会」への議案の提出を見合わせました。</p> <p>その後、要望書に対する回答の方針が定まったため、令和8年2月17日に開催された「令和8年第2回八潮市教育委員会定例会」に議案を提出して議決され、これに伴い、小規模特認校制度の休止を決定したものでございます。</p> <p>なお、令和8年2月16日から、学校適正配置指針・計画（案）についてのパブリックコメントを開始していたところですが、学校適正配置指針・計画（案）の記載内容の一部に変更が生じたため、速やかに訂正させていただいたものでございます。</p> <p>併せて、この小規模特認校制度の休止については、学校運営に影響するものであり、年度の区切りで行うべきものであると捉え、パブリックコメントの意見募集の期間中ではありましたが、その影響を鑑みた対応としております。</p> <p>特色ある教育については、小規模特認校制度が休止となっても、意見にも記載されていた「特色ある教育は変えることなく行っていく」との考えに変わりはなく、計画案に記載の「実施できるよう検討する」という表現もまた事実であり、「特色ある教育を続けることができるように教員の配置等において努力を重ねる」という考え方となりますが、複式学級が発生することにより教員の配置等が困難になることが危惧されるものです。</p> <p>また、これまで10年以上に渡り、八條小学校・八條北小学校・八條中学校の統合について議論を重ねてまいりましたが、統合には至っておりません。</p> <p>そのような中、特に八條北小学校においては、小規模特認校制度の導入後においても在校生が著しく少ない状況が続いており、推計においても今後その傾向は更に加速していくものと見込まれています。</p> <p>八條北小学校は、推計上は令和8年度より複式学級が発生する見込みとなっていたものの、実際には令和8年度及び令和9年度においては回避できる見込みであり、令和13年度頃から複式学級が発生する可能性が高いと想定しておりました。</p> <p>しかしながら、当初の想定よりも児童数の減少が早く進んだことにより、令和8年度において2年生と3年生で複式学級が発生しており、学級の運営や教員の配置といった教育環境への影響に加え、児童にとっては、将来大きな集団への適応に課題を有する可能性があること等を踏まえると、早期の統合が避けられない状況にあるものと考えております。</p> <p>このため、統合時期については、これを可能な限り早期に解消する必要があることから、令和10年4月というスケジュール（案）をお示ししているところでございます。</p> <p>一方で、統合に伴い、教育環境が大きく変わることで、新しい友達や先生との人間関係を構築しなければならないことから、児童生徒に精神的な負担がかかることが懸念されます。</p>
---	--

<p>本来であれば良い学校として周囲にも勧めたいと思っておりますが、今回の休止や統合の話が出たことで学校の将来が不透明になり、安心して勧めることができない状況になってしまいました。</p> <p>その結果、別の学校を選んだ家庭もあります。</p> <p>このような状況自体が、児童数減少の要因の一つになっている可能性もあるのではないかと感じています。また、学校周辺では道の駅やスマートインターチェンジの整備が予定されていると聞いています。</p> <p>説明会では「通学が危なくなる」と統合の理由に入っていました。</p> <p>通学の安全に課題があるのであれば、学校をなくす方向で考えるのではなく、通学路の整備や安全対策を検討することが本来必要ではないでしょうか。</p> <p>同じ市内では児童数が増加している地域もあり、プレハブ校舎の設置や新しい小学校の整備も進められていると聞いています。</p> <p>その一方で八條北小学校では小規模特認校制度が休止され、統合の方向で検討されていることに、市全体としてどのような学校配置を考えているのか疑問です。</p> <p>学校のあり方については、保護者や地域と丁寧に意見をすり合わせながら、結論ありきではなく慎重に検討していただきたいです。子どもたちの教育環境については、子どもの最善の利益の観点から判断されるべきだと考えます。</p> <p>今後の検討過程や判断の根拠について、保護者や地域に対して丁寧な説明と情報公開を行っていただくことを求めます。</p> <p>八條北小学校のような小規模校には、一人ひとりに目が届き、異学年での関わり、地域とのつながりなど、大規模校にはない大きな価値があります。このような教育環境は、子どもたちにとってだけでなく、地域にとっても大切な存在であり、八潮市にとっても多様な教育環境を残すという意味で重要な学校だと感じています。</p> <p>八條北小学校の小規模特認校制度の休止を撤回し、子どもたちや地域にとって大切なこの教育環境を今後も継続していただくことを強く求めます。</p>	<p>そのため、統合に向けて児童生徒に対しても十分な説明を行うとともに、統合前の段階から八條小学校・八條北小学校・八條中学校の交流活動を実施するなど、児童生徒が円滑に統合校での生活になじめるよう配慮した取組を検討します。</p>	
<p>子どもたちが安心して通える環境を第一に考えていただきたいです。</p> <p>学校は単なる学びの場ではなく、子どもたちの心の成長や地域とのつながりを育む大切な場所です。小規模校ならではの良さ（先生との距離の近さ、一人ひとりへのきめ細かい対応、安心感のある環境）は、子どもたちの健やかな成長にとって非常に重要であり、簡単に失われてよいものではないと考えます。</p> <p>そのため、現在検討されている統合・再編については、拙速に進めるべきではなく、現時点では反対です。</p> <p>30 また、今回の計画は決定までの期間が短く、保護者や地域住民が十分に理解し、意見を深める時間が不足していると感じています。</p> <p>親御さんも子供達も混乱しています。</p> <p>子どもたちに大きな影響を与える問題であるにもかかわらず、このような進め方には強い懸念があります。</p> <p>まずは十分な説明と対話の場、そして検討期間を確保した上で、子どもたちにとって最善の形を慎重に検討していただきたいです。</p> <p>宜しく申し上げます。</p>	<p>小規模校は、学級数が少ないことによる学校運営上の課題、複式学級による課題、教職員数が少ないことによる学校運営上の課題等が多数発生します。その結果、児童生徒が落ち着いて学校生活を送ることができる環境や、安全に登下校できる環境を確保することが困難となり、これらの問題が児童生徒に悪影響を与える可能性があります。</p> <p>八潮市教育計画に掲げる基本理念「明日の八潮を担う人づくり～「共生・協働」「安全・安心」を基盤として～」を実現し、児童生徒の確かな学力や豊かな心を育成していくためには、急速に進行する小規模校化といった学校規模の課題の解決は必須であると考えられます。</p> <p>さらに、八條北小学校は、推計上は令和8年度より複式学級が発生する見込みとなっていたものの、実際には令和8年度及び令和9年度においては回避できる見込みであり、令和13年度頃から複式学級が発生する可能性が高いと想定しておりました。</p> <p>しかしながら、当初の想定よりも児童数の減少が早く進んだことにより、令和8年度において2年生と3年生で複式学級が発生しており、学級の運営や教員の配置といった教育環境への影響に加え、児童にとっては、将来大きな集団への適応に課題を有する可能性があること等を踏まえると、早期の統合が避けられない状況にあるものと考えております。</p>	D

		<p>このため、統合時期については、これを可能な限り早期に解消する必要があることから、令和10年4月というスケジュール（案）をお示ししているところでございます。</p> <p>また、意見を深める時間などについては、これまで10年以上に渡り、八條小学校・八條北小学校・八條中学校の統合について議論を重ねてまいりましたが、統合には至っておりません。</p> <p>そのような中、特に八條北小学校においては、小規模特認校制度の導入後においても在校生が著しく少ない状況が続いており、推計においても今後その傾向は更に加速していくものと見込まれています。</p>	
--	--	---	--